日刊夕七 (第三版) 大正四年十一月八日 THE KEIJO NIPPO (明治卅九年八月一日第三種郵便物認可) 第二千九百三十六號 (一)

京城日報

朝刊と合せて八頁

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通二丁目

◎京都御着輦

鹵簿粛々烏丸通を北に丸太町を東に堺町御門より皇宮に入らせらる

聖上陛下には御豫定の如く七日午前九時五十分名古屋驛御發車、同午後一時五十五分京都驛に御著特別公式の鹵簿粛々として御順路の烏丸通を北に丸太町を東に堺町御門より京都皇宮に入らせられたり之より先き京都驛プラットホームには御先著の閑院宮同妃殿下、東伏見宮同妃兩殿下、東久邇宮妃殿下を始め各皇族、山縣元帥、松方侯、西園寺侯、一木、河野、尾崎、石井の各大臣等何れも正裝にて御出迎申上げ 陛下には龍顔麗はしく諸員奉迎裡に御下車古川鐵道院副總裁の御先導にて一ト先づ便殿に入御あらせらる、斯くて添田鐵道院總裁恭々しく賢所奉安車の御前に進み賢所を奉じて御羽車に移御し奉れり、軈で鹵簿の御用意全く整ふや 陛下には玉歩緩やかに御召馬車に召され、次に御羽車は輿丁の八瀬童子之れを奉持し伏見大禮使總裁宮殿下を始め奉り一同扈從申上げ御順路を皇宮に著御あらせらるゝや 陛下には御車寄より清涼殿を通御紫宸殿に入御あらせられ賢所には建禮門内を左折して春興殿に入らせられたり(京都特電)

歐洲大戰亂

▲聯合軍作戰變更か

アスキス氏とキッチナー元帥の協議

傳へらるゝ所に據れば聯合軍側の作戰計畫に一大變化あるべしと近時首相アスキス氏は屢々陸軍省にキッチナー元帥を訪問し何事をか協議する所ありたり(倫敦電報)

▲露軍羅馬尼に侵入

露の討勃大軍羅國に入る

露國の大軍は羅馬尼に侵入しドブリヂカを經たるが勃國攻擊の準備成れり(浦鹽電報)

▲勃軍敗戰

殆んど全滅の憂目に遭ふ

塞國公使館の發表する所に據ればマセドニヤに侵入しつゝありし勃軍はイヅヴオアに敗戰して殆んど全滅の憂目に逢ひ目下退却中なるが佛國砲兵隊と英國騎兵隊とは此の戰鬪に於て塞軍を援助したり(倫敦電報)

◎授爵の榮

に浴する七氏

孰れも皆男爵

御大典に際し新たに授爵の榮に浴する者は學者側にては山川東大總長、穗積陳重博士、田中芳男、官吏にては横田大審院長、實業家にては森村市左衛門、大倉喜八郎、古河虎之助等の七氏にして男爵を授けらるゝことに決定せり(東京特電)

◎米國旗艦通過

米國東洋艦隊司令官搭乘の旗艦サラトマ號は七日午前關門通過神戸に向へり(門司特電)

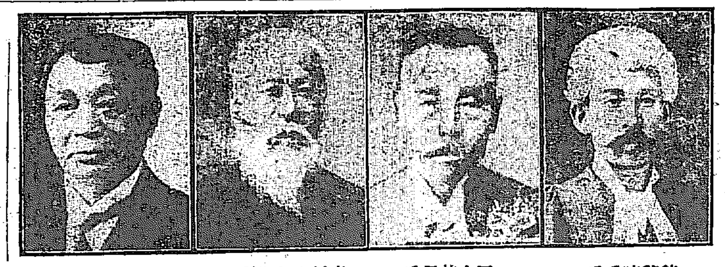
雜報

◎聖代の賜なり

日本組合教會牧師 今井壽道氏

日本基督教界の中堅にして日本組合公會東京神學院長今井壽道氏は當地組合公會の請に應じ數日前入京中なりしが七日夜行にて御大典參列のため匆々として出發せり寸隙を割いて記者に渡鮮の感を語る、曰く

授爵の恩命に接すべき



穗積陳重氏　田中芳男氏　森村市左衛門氏　大倉喜八郎氏

▲二種の視察眼 内地から來る人であると外國から來る人であるとにせよ朝鮮を視察し而して朝鮮を瞥見したる所感を語ると云つても甲乙二種の差があると思ふ一は即ち全然朝鮮と云ふものを知らない初見の人であつて一は即ち曾遊の人である全然朝鮮を全く知らなかつた者が今日突然朝鮮視察に出かけて來ての感じと云ふものは左まで朝鮮文物の進歩發達に驚くと云ふことはない單に聞きしに勝る進歩であり發達であると云ふ位に過ぎないものであらうと忖度する然るに之れに反して曾遊の者にありては五年十年前の朝鮮又は二三十年前の朝鮮と云ふものが頭に第一印象として暎じて居るからして今日の如く著しき改善を見るに及んでは既往の情況に對比して一層痛切に其進度の甚しきを覺ゆるのである予は其後者に屬し三十二年頃に一度渡鮮したる事がある

▲市街視察の印象 今回圖らずも傳導の任務を帶びて渡鮮することに決定し數日前入京したのであるが道すがら植林の普及したる農作物の改良されたる如き隔世の感がある京城に入るに及んでは曾て十五年前には足を入るゝ處だになき不潔の市街は今日一新して東京にても餘りに其例を認め得ざる程の設備が施され市街電鐵の如きも亦當時東大門通りの一線に限られたるに今日は市區改正と共に電鐵網を敷て交通機關の發達を現して居ると云ふ次第である且又近來内地人の移住者日を追て激増し日鮮人の民家混在して親和の實を擧げつゝあるは吾等本國人の最も力強く思ふ所である斯て朝鮮の前途は益々多望に而かも亦多幸に發達して行くものと信ずるのである

▲教育の力指導の賜 知人關屋氏其他二三の人を介して朝鮮人教育の現狀を視察したが予は市街設備の完備に驚きたるよりも更に一層驚きの眼を以て視察したのである當時の如き所謂寺子屋教育の時代に居つた朝鮮の兒童が一躍して新文明の教育を受くる樣になつたと云ふことは全く聖代の賜でなくて何んであらう日本が既往五十年間に今日の如き進歩を來した其速度よりも朝鮮の開發されて行く進度は速いと思ふ現に閉會後の共進會を通覽した所に徴するも彼等が日に月に受けつゝある教育の力指導の賜は彼處に陳列せられたる數多の出品中に躍如として成績を現して居るのである御大典參列の光榮を得たる予が其前に當り此殖民地を視察して如斯快感を得たる一事は予の最も多幸とする所である

◎滿鐵來年計畫

滿鐵來年度運輸計畫は本年度に於ける荷物の輸送及び歐洲戰亂の影響を受けたる旅客の往來等の成績に鑑み既に大體の方針を決定したる模樣なるが其の一般を聞くに

▲荷車の增設 昨年度に於ける荷物の出廻百萬噸以上に達し豫想外の好況を呈したれば荷車の不足を生じ爲めに石炭運搬にも支障を生じたる程なれば來年度に於ては是非共二百輛位を新造する計畫にて之に要する機關車數臺をも新造するに至るべく年年荷物輸送の增加するに伴ひ荷車を增設するは運輸事務上當然のことなれば多分實現すべし

▲客車の改造 而かして旅客運輸に對しては歐洲戰亂の結果外國人旅客減少し從つて連絡運輸の便を妨げ居るを以て當分旅客列車の運轉は現狀を維持すべきも客車に於ては内外人共に滿鐵客車の改良を希望し居る模樣なれば差當り本年度より三等車の改造に着手しつゝあるが來年度に於ては一二等車にも多少の改造を施し以て一二三等各級の權衡を保たん計畫にて順次實行の運に至るべし

▲賃金の改正 客車の改造に連れて起るべき問題は旅客賃金の改正なるが目下之に就き滿鐵にて研究中なるが果して來年度より實行せらるゝや否や未定なれども客車改造の進行と共に朝鮮鐵道其他の例に依り改正を加ふる事となるべし

◎仁川先月中水揚

十月中仁川近海の漁況は漸次閑散の時期なりしも去月の豐漁餘波を受け割合氣候の温順に伴ひ鯛の漁獲は比較的多量に上りたるを以て水揚金高に於ては前月より三千餘圓を減じたるも昨年同月に比し二千五百圓を增加したり而して月末に至り潮水の冷却に從ひ魚族は温潮の流域に移遊するを以て漁船も又之れに伴ひ漸次南鮮漁場に移稼することゝなれり而して其半數は内地本國に引揚げ當近海に於て雜魚の漁業に從事せしは當港在住者又は鮮人漁夫の一部なれば前月より減少したるは自然の結果なり本月中漁船回航度數及び水揚金高左の通り日船三百十五隻にて八千八百二十五圓鮮船二百八隻にて千六百三十八圓釜山其他よりの移入二千五百五十七圓にて十月中水揚重要魚族は鯛五千貫にて九千圓目張二百五十貫にて二百五十圓にべ一千貫にて九百圓鰆三百貫にて二百十圓鮑五百貫にて四百圓海鰻四百貫にて二百八十圓鱸五百貫にて四百圓鯖四百貫にて三百六十圓サワラ百五十貫にて百八十圓鰤四百貫にて二百八十圓鰆三百貫にて二百十圓鰺二百貫にて百二十圓コノシロ百貫にて百圓乾魚二百四十貫にて百二十圓鯖三百貫にて二百十圓にて合計一萬四千貫にて一萬三千二十圓なり十月中魚族價格は鯛最高二十圓にて最底十六圓目張十二圓より八圓にべ十圓より八圓鮫九圓より六圓鮑九圓より七圓海鰻八圓より六圓鱸九圓より七圓鯖十圓より六圓サワラ十四圓より十圓鰤八圓より六圓鯖八圓より六圓鮒八圓より四圓鰺七圓より五圓コノシロ六圓より四圓なりき

◎仁川港在庫米

仁川港に於ける十月末現在の在庫米數量を調査するに玄米五萬二千〇五十四叺白米二千三百六十七叺大豆一千八百十二叺小豆一千三百七十二叺小麥三千〇七十三叺綠豆百二十九叺粉米五百叺籾一千九十四俵粟二十七叺胡麻七十七叺糯米二百五十五叺也

◎軍艦日進入港

十一月七日午後一時軍艦日進仁川港へ入港の豫定なり

人事消息

▲今井壽道氏(日本組合教會神學院長) 入京中の處七日午後七時五十分京都に向け出發

▲加藤定吉氏(靜岡縣代議士) 七日朝出發內地へ

▲遠山熙氏(朝鮮殖產銀行支配人) 七日朝黃海道殷栗、樂山、海州方面へ出張

南言北語

去年の今日は皇軍一擧に青島を占領した國威宣揚の記念日である▲殊に鳳輦西に向つて大典の御儀益々近く瑞雲島帝國の乾坤に充ち七千餘萬の蒼生聖壽の萬歳を壽がぬものはない▲菊花秋霜に驕つて滿香馥々香しき今日只今イデ大盃を揚げて國威發揚、聖壽の無窮を壽かん哉▲少時陶然として歐洲の戰雲を見ると露軍も愈々持ち切れなくなつてニッシユは陷落した▲希臘も羅馬尼も動き相で動かぬイヤ何と云はれても未だ動けないのだ▲サロニカ上陸の聯合軍が地團駄踏んでも到底獨墺勃の大軍には兵力に於て敵對する事が出來ぬ▲形勢險惡を見て取つたアルバニアは俄に塞軍と砲火を交ゆる事になつた▲塞軍の退却には僅に此の方一路しかないアルバニヤが敵になつたので四面合擊の悲慘な有樣に陷つた▲可愛想に塞國も白耳義の二の舞になつた巴爾幹の前途は益々心細い▲支那の帝政も日本の警告で出鼻を折られたが併し奉天邊から北京に行く公文書中には袁大皇帝陛下と書いたものがある相だ氣の早いにも程がある▲氣の早いのは未だ取り得だエンヤラヤと出來た日支條約に手落があつて肝腎要の滿蒙境界に明確な規定のない處が飛び出した▲今更らオヤ〳〵でも追つ付かぬ根ッ子を捉へ付けて居てもソツと後から手を回して大事のお腰の物を取られては何にもならぬ▲見事にやつたと思つて居ると河童の相撲で何時の間にか投られるからウンと構えて居なければ今度も一杯食はさるゝよ

◉正誤 七日朝刊志賀重昂氏談大和民族の使命中英國の緯度を五十度以南の緯所僅に十二度云々とせしは十二分の誤植

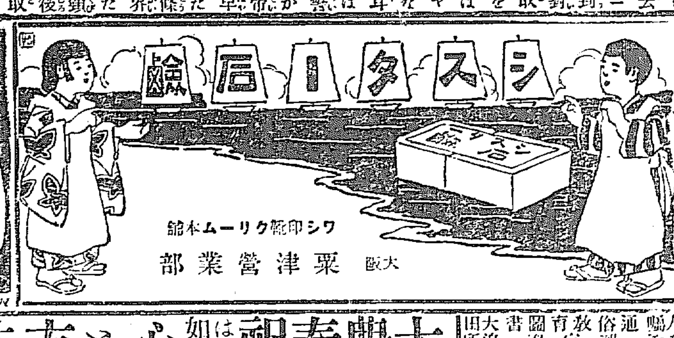
購買
玄米、精米、藁
詳細ハ十一月八日以降ノ朝鮮官報ニアリ
龍山陸軍倉庫

購買入札
一巡查補夏服外三點
右購買入札希望ノ者ハ本日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
大正四年十一月八日
警務總監部

商業登記公告
宇惠喜商油株式會社ハ大正四年拾壹月壹日本店ヲ京城府樂園洞武百九番地ニ移轉シタリ
右大正四年拾壹月四日登記
地番號ノ設定ニ依リ合資會社町田商店ハ本店所在地ヲ京城府本町武丁目參番地ト變更シタリ
右大正四年拾壹月五日登記
京城地方法院

告京城分會正會員
來る十日午後三時半光化門内勸政殿に於て京城府と合同御大典奉祝可致に付參列ありたし服裝は通常禮裝か羽織袴
帝國在郷軍人京城分會

廣告
本病院長醫學博士李恩滿 W. T. Reid m. D. 儀兼て歸國休養中約一ヶ年振にて歸院致し候に付ては今後尚一層業務擴張を計る爲め從來の普通診察所以外特別診察所を增設し茲に晝夜に不拘左の時間に依り熱誠を以て診察に應ず可候
院長診察時間(但日曜土曜を除く)
自午後二時至同四時 於普通診察所
自同四時至同五時 於特別診察所
右時間以外は朝鮮醫師に於て擔當す
開城滿月町 南星病院



胃病新藥 マーゲン
胃病快治法無料進呈
特約店 京城南大門通二 新井藥房

一度讀めば讀者は只驚くのみ
月刊雜誌 世の中
第二號出づ 定價十八錢 送料二錢
世の中の不思議 三宅博士
▲大問題 ▲世の中の敵とするか味方とするか ▲世の中の會議 ▲裁判物語
發行所 東京日比谷 實業之世界社 振替東京三四三三

與謝野晶子女史著 佐々木林風氏挿畫 廣川松五郎氏裝幀
お伽小說 うねうね川

冒險實譚 アマゾン探檢記
南米アマゾンは世界第一の大河にして流域實に四千餘哩河幅數哩に及ぶ此間千里際涯なき處女林あり絶壁深谿猶ほ無數の奇禽猛獸怪蟲の蟠踞あり此の壯觀を描くは中村君五大洲探檢の途次彼國の大統領の委囑を受けて戰慄措く能はざる無數の奇禽猛獸は太古さながらに生を得て本書は即ち其の實見錄也
大隈伯題字 新渡戶博士序文 五大洲探檢家 中村直吉先生著 谷洗馬氏畫
定價壹圓 郵稅八錢

通俗教育圖書 認定濟
世界探檢 十五萬哩
大隈伯題字 大道學習院長 田所學務局長序文 三宅博士序文
中村直吉先生著
定價拾錢
發行所 東京日本橋本銀町 株式會社 啓成社 振替東京一二〇三一 電話本局一〇〇五

大典奉祝は此の如き心と方法とを以てせよ
實業之日本
大典奉祝
▲八の字の大意義を知れ……大隈伯
▲余が家庭の奉祝法……十方伯?
▲心の準備を知斯せよ……新渡戶博士
▲一身一家の奉祝法……增田義一
▲臣民は此くして奉祝せよ……井上博士
▲大禮の意義と諸儀式の説明
貧乏の道の達人……絲堂
堂々十ページに涉る無忌憚の大論文……貧乏哲學の二代表者を評論す眞味可讀
授爵は不要なり 授爵以外に方法あり……實業家に授爵して宜い……早川鐵治
心的訓練……浮田博士
勇猛精神……白露生
算盤勘定の上手下手
奮へ添田壽一君
農家の副業 藥草栽培法
十一月一日發行 東京實業之日本社 振替東京三二六

京都驛御便殿控室

大典式場拜觀記（二）

京都にて　中谷靑霞謹記

□□即位式場（續）

右兩幟の南方に延て左右に菊花章の中錦旛各五旒を建つ皆同形にて旛竿の頂きに枝なき戟を樹つ其戟は諸錦旛と同じく金色にしてそれに藍色の線を畫く旛竿の高さは二十四尺各旛とも小葵の紋を置いたる錦地にして幅二尺八寸長さ十五尺各々旛色異れり中錦旛の北端の第一位は左右

□兩腋靑地の錦

次は黄地錦赤（纈色）地錦、白地錦、紫地錦にて左右各々五彩の旛を樹て各上部に菊花の御紋章を金糸にて繡出したりこの五彩の錦の御旛が御代豐かに吹く風輕く飜る有様は一際目立ちて崇高の感に打たるゝ

その紫地の中錦旛の南に小錦旛を左右各五旒れづゝ樹立す、各々旛竿の長さ二十二尺巾二尺五寸丈十二尺五寸にて地色も模樣も形も皆中錦旛と同じ、尚其の南には左右各々十竿づゝの鉾を立つ其の金長十三尺五寸竿頭の鉾は柳葉の形にて銀色なる錦旛竿の頭にある戟の如く藍色の線をし其の鉾の直ぐ下に左右各十竿の比禮を著く比禮の下端は山端に裂れてあり比禮は小旗にて赤地の錦に雲形の模樣を置きその比禮の上の方には金糸にて三つ巴紋を刺繡せり以上旛と鉾と竿頭の戟或は根元には必らず金色の錺あり

□大錦旛の前面

に萬歳旛を左右各一旒を樹つ旛竿の頂は兩枝（俗にいふ三叉）の戟あり戟は銀色にて黄色の線を引けり、旛は萌えん許りの赤地錦に瑞雲地紋あり上部には日を上にしたる嚴瓮と共に魚五尾の游けるを寫生的色彩にて刺繡せり嚴瓮の形は大和國石上神社の神庫に奉納せる酒壺を標本として出來上りしものにて濃茶色の糸にて刺繡したるなり此の模樣は神武創業の故事に基きしものにて天皇熊野を經て大和に入らんとし給ふも賊軍猖獗にして容易に進む能はず天皇神訓に從ひ天香久山の土にて嚴瓮を作らしめ、之れを以つて吉野の丹生川の上にて天神地祇を祭り、今嚴瓮を丹生川に沈むべし大小の魚悉く醉つて浮べば我必らず此國を平定すべしと宣ひ沈め給ひしに魚皆浮流れて其より皇軍連戰連勝ありし其の祥瑞を象りしものなり

その刺繡の下に大禮使總裁宮貞愛親王が流麗にして併かも雄健なる御筆致にて萬歳の二字を金泥にて大書せられたり、古來は儀式調度悉く世襲の有職故實家に御下命あり萬歳旛の如きも京都御所紫宸殿の御額を揮毫したる岡本家の如き其一にて代々萬歳揮毫の光榮に浴したるが今回は世襲的舊習を許されず始めて

□新たなる慣例

を仰きて大禮使總裁宮殿下の御揮毫を請ひ奉りたるなりと此の萬歳旛のみは上下左右に幅三寸の繧繝彩色の縁を著けたり縁端は中幅廣の黒地に白色の菱を線畫きにしそれより薄藍白萌黄となり更に中廣の赤地に藍にて四ツ目菱の模樣を置きそれより編幅の萌黄り白紫色の線ありそれより中幅廣の赤地に藍にて菱模樣を散らし又小幅の紫白萌黄の三線次に赤地幅廣の線に萌黄にて四ツ目菱紋を散らしそれより小幅の萌黄白の色線あり次に赤の中幅廣に萌黄の菱を描きそこに旛をつくといふ頗る復雜したる色彩なり紫宸殿の南庭には櫻橘の南側北よりに南へ承明門迄に左右兩側に各纛旛一、大錦旛一、萬歳旛一、中錦旛五、小錦旛五、都合十三旒れと鉾十竿とが一直線に樹ち並び（萬歳のみは稍前面）御即位式の尊嚴を添へ奉るべく其美しさ目覺むる許りなるべし而して小錦旛の

□前面には火焰臺

にかけたる、鉦鼓各三面を置く、火焰臺は今回の御新調にて總高さ五尺九寸七分丸窓の直徑一尺四寸五分の朱塗にて鉦は響銅製重量一貫二百匁本二分に塗裏は金箔押周圍に菊座金物を打ち四方の排房を附け鼓の胴は茶塗に牡丹唐草の極彩色にて皮は表裏共金箔を押して三巴を描けり、右の如く南庭は莊重に又華麗に裝飾せらる、かくて十日の午後參列參役の諸員粛然として殿上と御庭に立ち皇室國家の大典たる御即位の大禮は行はせらるゝなり、けふしも此御座に立ちて拜すれば當日の御盛觀想像するに餘りあり

天文臺上白旗飜る

靑島陷落の追懷談

總督附武官　白井陸軍少將談

東亞に於ける獨逸唯一の根據地靑島が陷落したのは去年の十一月七日午前七時であつた

△當時の降將　ワルデック少將は未だ捕虜として日本に居り、歐洲戰も未だ片付かぬ今日戰捷國の日本人としては當時を追想して感慨無限である

總督附武官白井陸軍少將の談に曰く

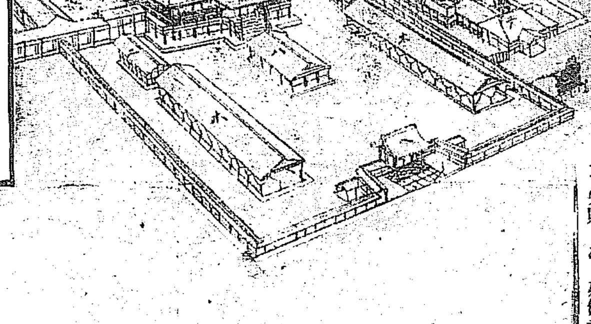
『靑島の攻擊は日露戰爭に於る旅順攻擊と同く最も困難なる攻城戰であつて殊に對手は孤立の軍とは云へ

△天險に據る獨逸の兵である、これから一番日本軍の向ふに廻はして少々手應へあらんと力むだ處實際の經過は意外に早く陷落し、我軍としては少々張合拔けの感があつた、併しこれは日本軍の勇武なるに由るとは言へ異に苦い經驗を嘗めた旅順の攻圍戰が靑島の大成功に多大の貢獻を齎らして居るのである我輩も旅順攻圍軍には乃木將軍の幕僚として親しく當時の戰況を目擊して居るが當時の我軍としては旅順を陷れることは實に焦眉の急に迫つて居たので隨分無理な强襲を斷行したのである、無理をした結果は果して失敗もあり死傷者も多かつたが愈よ要塞戰の攻擊法に出でゝから約半歳にして陷れたのは

△我軍の不撓不屈　の精神と漸次に新らしい經驗を積むだ結果に外ならぬのである、然るに靑島の攻城戰を見ると第一敵は增援軍の來る見込なき孤立の軍であるし尙ほ我軍は何程でも新手を繰出すことが能きる上に且つ充分の時日があるから餘程趣きが異ふと言つて可い、併したからこれは陷落の意外に速かつた原因であつて決して我軍が樂であつたと云ふ意味では無い、苟も軍隊が敵に向つて攻擊を開始し一地區一堡壘を奪取しようとする場合には何時でも猛烈果敢の動作と一死報國の犧牲的精神がなければ決して勝利を占めることは能きぬ事で戰鬪といふ點から言へば彼の二〇三高地の强襲もイルチス砲臺の突擊も決して差別あるとでは無いのである、要するに靑島の陷落は前年

△旅順の苦き經驗　に鑑みて我が作戰が適當に計畫されたると我軍の猛烈勇敢なる攻擊精神によつて得た賜物であつて當時靑島に據つた獨逸軍の戰鬪振や防禦設備など決して侮る可きものでは無かつたのである、次ぎにわれ〳〵は靑島に於けるワルデック將軍、旅順に於けるステッセル將軍等種々敵の軍門に降る首將の決心なるものを見せられたが西歐諸國では矢折れ力盡きた場合白旗を揭ぐることを正當なことのやうに言つてゐるやうにも思はれるが斯樣ことは苟も日本軍には無いことである、假に地を變へて我軍が靑島なり旅順なりを死守した場合我が當局司令部は降伏せよなど、といふ命令は如何なる場合でも命ずる虞れはない況んや

△一城の守備を命じられた首將たる者は所謂、最後の一兵を殘すまで力戰奮鬪するのがお決りである、靑島の開城の如きは所謂歐洲人としては正當なことのやうに思ふかも知れないが日本人には通用しないことである、現にステッセル將軍が戰後死刑に處せられんとなつたことを考ふれば降伏と云ふことはわれ〳〵の想像する如く歐洲の武士道にも許されてゐるとでは無いと思ふ』



上、春興殿（イ）外陣（ロ）內陣內々陣（ハ）神饌殿（ニ）御羽車舍（ホ）幄舍（ヘ）正門（ト）十八間廊下（チ）內掌典掌典御所

下、拜觀を許されたる外國新聞記者

秋の運動界

四　野球界總評

本年の野球界を總評するに當つて先づ特筆す可きは矢張今春鐵道グラウンドに於て擧行せられたる朝鮮公論社主催全鮮野球大會に於ける鐵道倶樂部對五星倶樂部の競技であつた、併し當時より隔れば各チームに於て多少の變更あるを以て去る十月廿一日鐵道秋季野球大會に現はれたる成績を以て各チームの强弱を批判し且又各チームの申合戰とする譯である。今當月の各競技を概評せんに、

■遞信局對鐵道庭球部

遞信の巨人投手長岡の投げ出す强球猛球に庭球軍はぐうの音も出でず散々打擊を封ぜられて九對A四にて敗衂に期した。敗軍の將井田、武田杯時々思ひ出した樣にヒットせるも到底遞信の敵ではなかつた

■京城倶樂部對鐵道第二選手

當日鐵道後彼らに第二回戰に京城倶樂部對鐵道第二選手の競技は開始された京城軍投手原地は嘗て釜山チームの名投手として大に名聲を擧げし人である那の小柄より繰り出す球に見る可きものあり。常に鐵道投手佃部保坂にプレートを讓りてより漸次挽回し六回に至り鐵道第二の一點の勝ち越しとなる七回京軍最後の攻擊に出でたるも鐵道第二の守備陣にして遂に六對A五にて鐵道第二の勝利に歸す。京軍の御大武田が央にして中止せるため大に意氣に於て阻喪せるものなる可しと雖も一般にチームワークに缺くるところなしとせず好漢の自重を望む

●須磨子來る　七日夜南大門驛著

藝術座島村抱月松井須磨子一行七日前十時三十分發同夜南大門驛著盛んなる出迎を受け京城市內一覽後京城及び龍山の旅館に分宿する筈（釜山特電）

●科料は說諭で帳消した

デモ紳士の庇理屈

一兩日前京城地方法院刑事法廷に被告人として羽二重五つ紋付に折目正しき仙臺平の袴をうがち金鎖を白縮緬の大巾ものに卷き付け見るから堂々たる一紳士出廷したり熊島判事係境檢事立會ひ馬場書記の著席にて開廷したるが先づ熊島判事より型の如く被告に對し住所氏名を問ひ次いで事實の審問に移りたるが此のものは長崎縣南高來郡島原村當時龍山元町二丁目居住の林龍雄（三八）といふものにて同人は九月二十三日午後十二時頃京城黄金町三丁目支那料理店にて飲酒し醉ひの廻りたる折柄居合せたる一人の支那人が柔道を能くする旨語し掛けたるを同人は傍より聽き込み件の支那人に對し支那人にて柔道を知るなどは生意氣なりと言ひ樣林は携へ居たる洋杖を以て突然支那人を强か毆打し斯くの如く打込みたる際は如何に受けるやと放言し次いで大威張りに威張り散らし亂暴を働くものから支那人は最寄なる櫻井町巡査派出所に取押へ方を訴へ出でたり依つて詰合ひの警官現場に出張し一應交番所迄同行の上說諭したる後歸宅を命じたるに同人は更に聞き入れず支那人に創傷あらば直ちに醫師の診斷書を取り吳れと滅法たる所に力瘤を入れて反抗し自ら交番所の電話にて本町署に右の旨を申込みたるより同署にては面倒なりと本署迄出頭すべしと答へたるに就ては詳細の要領を得ざるに就き兎に角は早速人力車にて威勢よく本署に出頭したり警察署にては事實取調べの上警察犯處罰令に依り科料金三圓を申渡したるを不服として正式裁判を仰ぎたる次第と判明したるが法廷に於て同人は何物か不足らしく而も不遜なる態度にて自分は警察にて科料三圓納金は惜しくないが一應說諭されたる其れのみにても充分三圓の價値あるものと存じ一犯罪に對して說諭と科料と二樣に處罰さるゝ理由なしと述べたるより傍聽者をして哄笑せしめたりと

●奇石治療

諸病に奇効を奏する去四日の夕刊記事を見よ　治療所　永樂町本願寺前　酒井

●仁川こ天勝　天勝一行は五日より仁川歌舞伎座にて開演せるが例のサロメは非常なる評判を呼び毎夜大入滿員の盛況を呈し居れり

●仁川の小火　仁川府內里李致成方は六日午前八時頃溫突煙筒より出づる煤火より發火したるが藁屋根のみ燒失して鎭火し人畜の負傷も無く檐下に積み置きたる籾一俵燒失せるのみなり

●五圓の科料　仁川府新町一丁目十八番地第一號藥種商藥山照（三八）は十月十二日其の筋より營業監査の際工業用醫療用劇藥普通藥を混同して同一戶棚の中に納入しありしを以て五圓の科料に處せられたり

●新寫眞提供

明八日より上場新寫眞は何れも特別興行用として提供すべき雄大奇拔なる傑作ものゝみ特撰し聊か平素御愛顧にむくいんとす乞ふ來りて其の抗價を見られよ

新派　幼な顏　全三卷
泰西活劇　祖國　全四卷
舊劇　血櫻お駒　全五十場

本町一　有樂館　電話二六六番

[illegible]借金が苦にして縊死　[illegible]郡[illegible]面[illegible]京町農村金穗（[illegible]）は債あるを返濟方法に苦心し其結果厭世自殺をなしたるものならんと

[illegible]八月三日主人津久井病死し事故あり同日女房より屆出せられたるにも[illegible]町署の手に檢擧され京城地方法院に於て十一月五日懲役十箇月の判決を[illegible]

外九點（價[illegible]十七圓八十錢）を窃取し[illegible]午後一時頃林町中田織馬方家[illegible]

天氣　曇り
▲十一月八日　[illegible]
十一月九日九星　[illegible]

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城　朝鮮銀行

電話　㈹三三一、一〇六、一一　㈹三三一、一二六〇、一二六一　一六一三
振替貯金口座　京城三三三番

支店出張所　東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

新小說

●英國文人の日本罵倒錄…野口米次郎
■日本都市行政　安部教授
■北歐の新勢力　風來居人
■トルストイの戰爭觀　相馬御風
■日本野球界の現在及將來　門監督
■獨探　谷崎潤一郎
■女（四人）と男（三人）　岩野泡鳴
■人類と婚姻　永井博士
〔小說〕夏繪…里見淳
■侏儒の出來と出所　水島爾保布
新作評論　五名家
■旅役者の手記　坪內士行
■ひかりもの話　日比野學士
◎美術院と二科會と文展と……小宮豐隆
實利の獲得…安倍能成

新機運を齎せる　十一月號

一冊廿五錢　一冊前金二圓五十錢　送料二錢
東京日本橋通一　振替一六一　春陽堂

南大門內に當行派出所を設置し十一月一日より預金貸金爲替等一般銀行業務を確實親切に取扱申候

株式會社　漢城銀行　南大門通一丁目十四番地
電話長六四六番・二一三九番・一八六二番　振替貯金口座二一〇五番

株式會社　漢城銀行南大門派出所　南大門通四丁目五十四番地
電話四一九一番

◎家庭內職生大募集急告

▲弊會は朝鮮に於る新案美術ゴム品製造界の元祖本業は土地遠近老幼男女山間僻地を問はず自宅で出來資本十圓內外月收廿圓以上其製品弊會引受永遠取引年中無休海外輸出前途有望の好職業志望者は來店又は郵券十錢送り製品見本就業案內書進呈平北諸氏新義州特約店三友社へ

●大正式　自轉車各タイヤ修繕　人力車復舊修繕　機械大賣出

▲弊會發案の大正式タイヤ修繕機は從來內地等に在る他の商式機械と全く異り大改良天下無雙の最新式機械にて正業者は勿論家庭用にも最適當志望者は來店又は郵券四錢送れ就業案內書進呈今回百名限り左の大景品付販賣す

●自轉車景品付大賣出急告

弊商會發賣の自轉車　日之出號　インバイヤ號　タイム號　バード號　堅牢無比　天下一品而も價格低廉此際開業披露の爲め左の大景品付大賣出す

▲景品一等　自轉車貳臺　二等　修繕機五臺、三等　タイヤ五組、四等　ベル十個、五等　ゴム糊百個　空籤無し

金儲之霸王
京城黃金町四丁目（電話二六五二番）
日之出護謨商會

御大典奉祝用
白酒の壽　定價拾錢
黑酒
特約販賣希望者は申込あれ
京城大和町一の四二
一手元賣捌所　西田商店

橘流
筑前琵琶歌音譜
水也田旭嶺編纂

春の卷　夏の卷　秋の卷　冬の卷　雪の卷　月の卷　花の卷　各三十錢　送各二錢

筑前琵琶彈法書上下各卅五錢送料各二錢　▲發兌大阪南渡邊町前田文進堂

賣捌　京城本町一丁目　日韓書房　振替京城百拾五番

……城署より警官出張檢視の上死體は妻張姓女に引渡したり同人は平素小心者にて隣家の朴致德より百圓の負……

……が三年十一月より京城永樂町二丁目魚商津久井方に雇はれ居りし所本年……葬式費用不足につき魚の賣掛代金を支拂ひ呉れと云ひ金四圓を騙取逃走し其後本……

……常盤京城北米倉町……は十月二日午前十一時頃北米倉町瑞……西人オルソン方に忍び入り女持鞄……り横田檢事立合ひ馬場書記著席の上懲役四箇月の判決となりたり

各地奉祝

釜山の奉祝

釜山に於ける

▲奉祝式場 釜山に於ける御即位式奉祝式場は既報の如く龍頭山上の廣場に東方に向ひ高さ四尺巾九尺の遙拜殿を設け廻らすに紫の幔幕を以てし拜殿の前面左右には千歲の壽を祝ひ奉る雌雄の松を樹つ式場は紅白段染の幔幕を張る當日の遙拜式は香椎源太郎氏司會者となり御即位奉祝の定刻なる三時三十分萬歲の奉唱は年長者福田增兵衛氏音頭を取る筈なり當日の奉祝式場參列者は釜山官民一般にして何人にても相當禮裝せる者は參列する事を得る參列者は午後二時三十八分一發の號砲を合圖として參列の用意を爲し正三時迄に必ず式場に整列すべし式場は靜肅を保つ爲め奉祝定刻即ち三時三十分近くに至れば或は入場を許さゞる事もあるべしと

▲各町の餘興 釜山及び牧の島草梁釜山鎭等にては數日前より夫れ〲町飾りと共に餘興の準備に熱中し居れるが餘興は各町共十六十七十八の三日間とし釜山市內各町の餘興團は一度龍頭山神樂殿に於て演行の上其後各町內にて行ふ事に略決定せり餘興の種類は別段取締をせざれども興行者は飽まで奉祝の意を忘却せず淫猥がましき所作等あるまじき事なり

▲官民合同祝 釜山官民合同の祝宴會は十七日正午より龍頭山上に於て開催す當日參加者は十三日までに釜山市內は商業會議所、寶水町は井上開多、草梁は志賀五百枝、鄭子範、古舘は中野强助、金鍾斗、釜山鎭は辰見武一郎、宋連用、瀛州洞は鄭喜煥、草場町は李馨雨荒木嘉久治、牧の島は立花增愛鄭寅鍾の諸氏の宅に於て入場券を發賣す入會券は五十錢來會者は一千名の見込なりと猶十四日委員會を開き詳細の打合せを爲す筈なり

▲府尹祝宴 十六日大饗第一日午後一時より若松釜山府尹は府內の重なる官民百五十名(內婦人三十名)を龍頭山上設けの場に招待し御大禮奉祝賀宴會を開催し尙當日の參列者には記念の木杯一個宛贈與する由なり

▲行列變更 御大典奉祝大提灯行列は昨報の通りなるが六日左の如く一部の變更ありたり

▲停車場前を發し郵便局角より右折し大廳町より寶水町尋常高等小學校の前を通過し寶水橋を渡り裁判所角より左折商業女學校前を經長手通より左折本町筋に入り琴平町に出て府廳正門前より埋立町に出て停車場前に於て解散する

▲草梁釜山鎭古舘方面 こゝの行列は古舘及び電車通りを南進し停車場前に於て館內行列に合するを

公州と御大典

▲即位禮奉祝式 道廳內正廳舍を式場に充て十一月十日午後二時より開會の筈にて司會者の御眞影開扉、一同最敬禮、君ケ代合唱、勅語捧讀、司會者御大典要旨講話等ありて午後三時半京都に向つて萬歲を奉唱し、一同最敬禮司會者御眞影閉扉を以て式を畢る

▲天盃奉授式 十一月十日道廳正廳舍に於て高齡者天盃奉授式擧行本道に於ける賜盃者百歲以上四人、九十歲以上九十三人、八十歲以上百四十三人合計二百四十人、酒肴料百七十二圓五十錢、官房主任の開會に次で道長官天盃傳達、道長官告辭、來賓祝辭、拜受者答辭等ありて閉會を宣す

▲賜饌式 道廳正舍に於て賜饌者一同に對して行ふ、賜饌者式場に著席長官開會の旨を告げ、君ケ代合唱、天皇陛下萬歲三唱、開宴接待員は每賜饌者に白酒、黑酒及び鯣を配す

▲奉祝宴 右式畢りて第一鈴に一同宴會場著席長官開會を告げ君ケ代合唱 天皇陛下萬歲奉唱、宴に移る

▲官民奉祝 民間に於ては赤誠奉祝せんとし十日より十七日迄各戶に注連繩を張り國旗並に提灯等を揭げしむる筈十日櫻山公園招魂社前に參集京都に向つて萬歲を奉唱す

▲記念植林始植式 同日午前九時よりは官民一同山城雄心園に集り御即位記念植林始植式を行ふ

▲大神宮參拜 十四日大神宮へ市民一同隨時參拜すること

▲祝賀會 十七日正午官民一同病院前に於て擧行す

▲提灯行列 十七日午後六時よりは市民一同の提灯行列ある外假裝行列、屋臺囃子、鮮人綱渡り、花自動車練り其他盛に催す筈なり

●平南莨作好良

平南の莨作は既報の如く異常の豐作を示したるが今其筋の調査に依れば收穫全道廿五萬貫にして之れを前年に比すれば九萬貫即ち五割七分四厘の激增なり更に地方別に觀るときは耕作地減少の爲价川德川兩郡の減少を示せる外各府郡何れも多少の增收を告げ殊に江州(三十四割强)大同(二十六割强)平原(十六割强)の如き空前の出來榮えなりと

●前月群山貿易

前月中群山輸移出入貿易狀況を聞くに輸移出に於ては新穀出廻り期に入りたるを以て米穀の輸移出額五十五萬七千二百十二圓に達し外輸移出品としては牛皮の三萬四千五百零九圓重なるものにして他は數ふる能はず輸移入輸移出品中價格四千圓以上に達せるものは食鹽五千四百二十圓清酒四千二百零三圓綿織糸五千五百二十九圓生金巾及生シーチング八千零六百零三圓紙四千六百十五圓熟鐵五千二百四十二圓諸器械類四千五百九十三圓マッチ四千六百六十九圓等なるが輸移出總價格金六十二萬三千零九十四圓輸移入總價格金二十二萬八千零八十圓にして輸移出超過價格卅九萬五千零十四圓を示し居れり

●全南の表彰者

今回全羅南道に於て篤行者として表彰せられたる者左の如し

旌表狀

木浦府 藤森利兵衛
靈岩郡 佐々木仙助
順天郡 金學順
羅州郡 金東炫
長城郡 金背鉉

風に學事衛生交通に關し(產業又は勸儉貯蓄)篤行尠からず衆庶の儀表となる仍て銀盃一組を授與し之を旌表す

朝鮮總督陸軍大將從二位勳一等功一級伯爵 寺內正毅

藤森利兵衛氏

左の內木浦に於て此の光榮ある恩典に浴したる藤森利兵衛氏は山口縣熊毛郡麻郷村の產にして三十年前より朝鮮貿易に志し仁川元山釜山其の他沿岸に帆走船を以て盛に貿易を試み其の後明治三十一年木浦へ來住し輸入貿易業を開始し爾來孜々として斯業に勉勵し毫も居留地驕奢の風に染まず身を持する質素勤儉錙銖苟もせず遂に能く產を成したるもの寔に世の模範とするに足る尙ほ明治三十一年五月より居留民世話掛となり爾來引續き民會議員商業會議所議員として十數年間其の職に盡し又民團最後の議長として能く其の終りを全うせり此の間輙もすれば發展的積極に奔る居留民公共事業に對しては常に周到なる注意を以て消極を持し能く其の中庸を得て平和穩健の風を助成するに與かりて力ありしものと謂ふべし同氏が既往に於て行の篤きは今回の旌表に依り明かなれども此の光榮ある稀有の恩賞に浴したる氏が將來益々其の德行を積み社會の儀表となるに於ては獨り氏の名聲を揚發するに止まらず實に木浦の名譽として永く誇さするに足らん

●今月中連絡船々繰

十一月中關釜連絡船釜山港著發如左

	高麗丸	新羅丸	壹岐丸	對馬丸	弘濟丸
五日	……	……	夕著	……	……
六日	朝著夕發	……	朝發	夕著	……
七日	……	夕著	……	朝發	朝著夕發
八日	朝著夕發	朝發	夕著	……	……
九日	……	……	朝發	朝著夕發	夕著
十日	……	朝著夕發	○夕著	(汽罐掃除)	朝發
十一日	朝著夕發	……	朝發		夕著
十二日	……	朝著夕發	夕著		朝發
十三日	朝著夕發	……	朝發		夕著
十四日	……	朝著夕發	夕著		朝發
十五日	朝著夕發	……	朝發		夕著
十六日	……	朝著夕發	夕著		朝發
十七日	朝著夕發	……	朝發		○夕著
十八日	……	朝著夕發	夕著		朝發
十九日	朝著夕發	……	朝發	夕著	……
二十日	……	朝著夕發	夕著	朝發	臨時 朝著夕發
廿一日	朝著夕發	……	朝發	夕著	……
廿二日	……	朝著夕發	夕著	朝發	……
廿三日	朝著夕發	……	朝發	夕著	臨時 朝著夕發
廿四日	……	朝著夕著	○夕著	朝發	……
廿五日	朝著夕發	……	朝發	夕著	……
廿六日	(汽罐掃除)	……	夕著	朝發	朝著夕發
廿七日		朝著夕發	朝發	夕著	……
廿八日		……	夕著	朝發	朝著夕發
廿九日		朝著夕發	朝發	夕著	……
三十日		……	夕著	朝發	朝著夕發

釜山は夕發は午後八時三十分朝發は午前五時四十分同夕著は午後九時四十分朝著は午前九時○印は水曜日にして午後九時十分滿鮮急行列車に接續す

●元山より

▲橫斷航路に依る北鮮生牛の移出は未だ第二回航の實施を見ざるも初航以來其の市價は好影響を受けつゝあり殊に一時暴落に暴落を重ねし咸南地方の牛價も漸く農繁期に入ると共に騰貴の狀態にあり最低落の當時に比すれば三割以上の高値を稱へ牝牛一頭二十五六圓牡牛一頭三十四五圓に上り牛皮は盆皮の出廻り後下押しの姿にて一方牛價の騰貴を見たるを以て肉用屠殺も漸減の狀を呈し居れり

▲成北の開鱈は逐年販路增進し從來清津より下關を經て阪神地方に移出し居りたるも今春以來直取引を見るに至り同地にては單に朝鮮產開鱈無頭と稱して有頭鱈の北海道及び樺太產等の競爭品あるに對し獨立の姿なれば大に囑望せられ輸出品として阪神地方より臺灣、厦門、廣東方面に仕向けられつゝあり元山より內地へ廻送する鱈は頗る多量なるのみならず身碎け皮落ちて到底輸出品として適せざるも清津より廻送の鱈は品質良好にして頗る好評なりと

▲江原道襄陽地方にては此程明太魚群集し來り每日二三百駄の水揚あり附近はそれがため殷賑を極めつゝあり、本年は例年に比し江原道及び北關沿海にては明太の漁期頗る早く且つ何れの地方も豐漁にして漁獲物は漸次釜山仁川等へ廻送されつゝあり

……一切の賭事せぬがよし▲四綠 平調の日なれども新事控目の方吉 薪炭樹を植ゑるは吉▲五黃 ……は吉徜散財を……利用業務者吉▲一白 邪氣もの多き日 ……常の事は吉婦人のせわ……

豫報

御大典記念 會員大募集

此際入會者ヘハ御大典記念トシテ無代進呈ス

自宅獨習自在

實業講習錄

總裁 大隈伯
副總裁 澁澤男

無代進呈 メタル(價五十錢) 卒業之證 十一月中の入會者に限り奬學の爲め特典を設く速決せよ

壹箇年にて卒業

中等程度實業科目悉く教授す

見本 進呈

講義申込 一ヶ月五十錢 三ヶ月一圓四十五錢 六ヶ月二圓八十錢 一ヶ年五圓五十錢

東京市京橋區南紺屋町 帝國實業講習會 振替口座東京一〇一六

朝米

正 橋本猶作

致富之寶無代進呈 前金註文は紹介を要せず 大阪堂島米穀取引所仲買人

電話長東 二五〇 二五一 一七〇 振替口座大阪二〇四二七

● 急告

梅毒專門藥唯一丸

梅毒胎毒横根邪瘡よりまちすの病毒より來る病毒は毒菌を治滅すると共に安全に體內より除去すべき靈藥により其目的を達す現今梅毒藥其他の副作用を起さず此兩特效を併有する專門藥は唯一丸なり百藥の效なき方は速に此良藥により不安を去られよ

五十錢 一週間分 一圓 十日分 二圓三十錢 一ヶ月分 八十一錢 一ヶ月分 三圓 全國有名藥店にて販賣せり

梅毒養生法 無代進呈 送料四錢

發賣元 中西藥局 東京市牛込區神樂坂上 振替東京千五百番

● 新荷著アンクル式片側懐中時計

機械堅牢示針正確精巧優美にして實用的に價格の低廉なる事天下無比

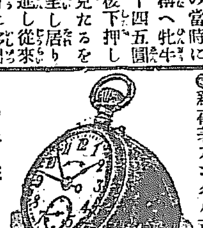
十九形 鐵側 一圓九十錢
十六形 同 二圓八十五錢
十一形 同腕時計鎖付 五圓二十錢
十六形 ニッケル側 二圓六十錢
十三年形 同 二圓九十錢
十九形 同(機械表示) 三圓九十錢
十六形 同 八圓五十錢
十八形 同 十圓五十錢
十九形 銀側 十二圓
十六形 銀鍍金(調刻蓋) 八圓二十錢
同 金鍍金調刻兩蓋側 四圓五十錢
十九形 同(銀七寶) 十六圓八十錢
十七形 同(腕時計) 廿六圓五十錢
十一形 パリー(十年保險) 十三圓八十錢
十九形 同 十八圓
十八形 同 二十一圓五十錢
同 同 廿一圓五十錢
十六形 十八金 百五十圓
十九形 同 百五十五圓

右は今回新荷の商品にて本商會獨り之を有し他店には無き所のもの伏して御注文に對しては急速御引換小包郵便にて地方遠隔の御注文に對しては代金引換の便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國直輸入品

追て其他理想的時計及び目醒時計取揃へ居り候

本店 京城本町二丁目 電話九七二番 イングレツソレー商會



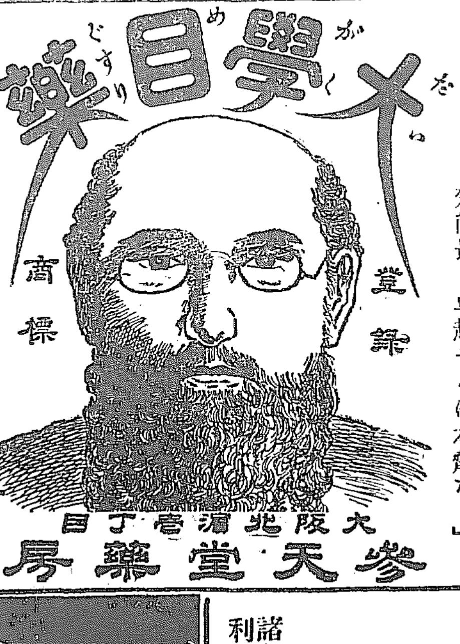
大學目藥

「內外各處に賞用せられ效能最も卓越せるは本劑なり」

定價 金十錢 廿錢(郵税二錢)三十錢(郵税四錢)大瓶五十錢(郵税八錢)●各地藥店に在り

大學目藥は帝國醫科大學醫院の處方に基き貴重の製劑にして●はやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●爛目其外眼病一切に驚くべき効能あり●十歲以下の小兒の爲別に小兒用大學目藥あり

大阪北濱壹丁目 參天堂藥房



世界一 わし印ミルク

診察時間 自午前九時 至午後六時

初診の御方は可成午前中

京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前)

シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

● 藥劑師と近道は本會藥學講義錄に限る

藥劑師に非れば藥業に從事する機會なし、藥業志望者は此際藥劑師となれ

一 完結記念特典 此際三大特典を提供す

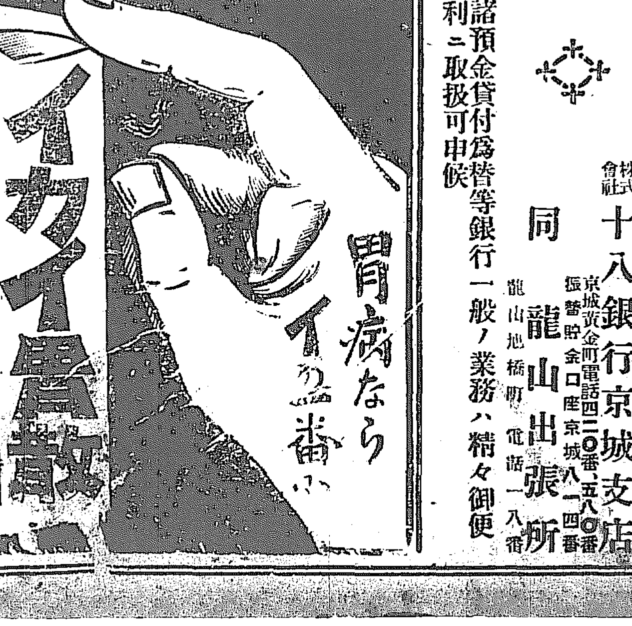
會員募集 八ヶ月卒業

東京藥學會

本會講師は藥劑師試驗委員、攻東門藥學士にて斯界最良の通信藥學校なり

講師 村山醫學士 大河藥學士 ……

東京神田表猿樂町廿五 本會規則



貯蓄預金

元金百圓ニ付日歩壹錢四厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店

株式會社 十八銀行京城支店 京城黃金町電話四二〇番、五八〇番 振替貯金口座京城八一四番

同 龍山出張所 龍山地橋町 電話一八番

諸預金貸付爲替等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

胃病ならイカイ胃散

衞生堂 胃弱症の特効劑 健胃 胃散

○飲み過ぎ○食過ぎ○消化不良○りうゐん○胸の痞へ○胸の痛み○慢性胃弱諸症に妙です ●各藥店にあり

本舖 大阪江戶堀 猪飼史郎藥房

資本金 五百萬圓

頭取 安田善三郎

★ 株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目

電話 五八番 一九四番 振替貯金京城一一三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候

爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

大正 汽車 京城 南行 北行 [illegible]

越後大評定

第三十七席 早川貞水口演

落人お千代金三郎

サア一同が大いに驚き、委細を聽くと琴の師匠笹岡と云ふ、以前岡本小次郎と云つた方の女房が、是々々と云ふ、是から内々松屋へ人を出す、松屋夫婦喜んで飛んで來り『ヤレお千代無事であつたか、此前途は何うしたものだらう』と云ふと千代が『此御老女樣が、後の災難を遁れるため斯う／＼仰つしやいました』三『それでは仕方がない、今夜の内に』と云ふことになり、萬屋の番頭に『御當家の番頭さん、何分宜しく』と云ふと、萬屋が『私の親類が、越後の新潟古町通に御坐いますから、此親類へ今晩の内に、密かに出した方が宜しう御坐いませう』と、そこで萬屋の番頭六兵衞、松屋の番頭吉兵衞が支度を致し、金三郎お千代には、其の著換くらゐで金子を六百兩、一人で持てないから、六兵衞、吉兵衞の兩人が半分づゝ持つて、さうして金三郎お千代を越後の新潟へ送ることになり、暫く其處で落付いて居たならば、其内に殿の御亂行も止まるであらう、其節は立歸つて、表向き婚禮しようと、其次第を親類にも話し、密かに夜の明けない内に駕籠を新潟の古町佐渡屋權兵衞と云ふ親類へ出發せ、萬屋松屋は何喰はぬ顏をして澄まし込んで居る、所が殿樣の御勢ひは大變、早速町奉行荻野孫左衞門を呼出し『汝是より、城下の萬屋松屋の兩家へ參り千代なる者が居るか居らぬかすつかり探つて吟味いたせ』殿の仰せ、是非に及びませぬ、御請を致して退下る、此方は越後の親類へ若夫婦を立退かせ、ヤレ安心と思ふ翌日、御町奉行荻野孫左衞門が御出張、松屋、萬屋兩家を今日で云ふ家宅搜索、その時分の家探しとなつたどうも奉行の身として、心苦しくは思うが、主君の命、仕方がない、松屋方をすつかり、土藏から緣の下まで取り調べて、仔細がないと云ふので、萬屋方へ指して乘込まれ、愈々萬屋を取調べる、主人金兵衞を始め、家内番頭、殘らず並べて、何れへか取逃したのであらう、今の内に有り體に申されぬと、却て後に如何なる難儀を致すやも知れぬ、只今の内に有り體に申し述べたら、御主君の方は、此方が宜しく取計らひ得させる、如何ぢや』金『手前方へ、松屋三右衞門娘千代は、昨夜參ることに成つて居りましたが、御城中へ御伴れになりました後は、一向何の沙汰も御坐いませぬ次第、宜しく御賢察願ひ度う存じます』と云つて、主人金兵衞はじめ家内番頭、平目のやうになつて歎願をすると 孫『コレッ、是ほどの騷動の中に、當家の伜金三郎は何れへ參つて居る』釘を刺されたに依つて、ギックリと致しましたが 金『是は今朝近在に用事が御坐いまして、殊に金の取引に就ての用事で御坐いまして、其がため伜自身に出でまして御坐る 孫『默れッ、斯る騷動の中に、ナニ金の取引、そんな譯なものであるまい……ハア察する所、それでは千代、金三郎兩名、何れへか落さしたに相違あるまい 金『イエッ 孫『イヤそれに違ひない何と申しても言ひ譯は立たぬ、コレ金兵衞』金『ヘッ 孫『ソレッ、金兵衞に繩うてッ 金『是はどうも…… 〇『御用だッ、神妙にしろ』と云ふと忽ちの間に繩を打つ。

絹の買時

京都市松原烏丸西 京染呉服卸問屋 勝馬商店は今回御大典記念として染絹の破格賣出しをなし各地よりの注文は日々發送に目も廻る繁忙なるが此賣出しは世間一般の利益目的を遂ひ御大典記念として販路の擴張を計る爲利益を道外視し廣告費用として賓品を原價以下に賣出す事なれば普通品の半額位に相當す至急御注文ありて如何に其格安なるか御試しあれ

節白絹	一疋(鯨六丈物)	參圓六拾錢
同色絹	同	參圓八拾錢
同紅絹	同	四圓也
白絹	同	四圓五拾錢
紅絹	白紅	五圓也
八橋織	白紅 色紅	各六圓廿錢

右御注文次第引換便にて送る送料實費

演藝案内

壽座 日活 電話五七八番 町 十一月三日より毎日正五時開演 浪花節芝居 東福助大一座 人面想道中龜山敵討

御成座 町 電話二九一 第五十六回替藝題 (一)不浪女代作 (二)喜劇『浮世』 (三)『人身の歎篇』 全七場 大人小人一人前金五錢均一場代入らず早い勝 登場俳優手摺大車輪にて御覽に入れます

大正館 櫻井町 電話八七三番 十一月四日より新寫眞 ○實寫アリプッオー風景 ○滑稽上は役○喜劇す ▲日活會社專屬 ○新派悲劇『鬼神お六』全三卷 ▲伊國アンブロジョー會社傑作 ◎泰西軍事大活劇『敵陣』全三卷 [illegible] ◎舊劇『宇都宮釣天井』全三卷 [illegible]

是非……黄金館へ 南洋新占領地の實況 日本國民必覽の義務あり 文部省認定、海軍省檢閲 拓殖新聞社吉武氏說明 實話日本三大仇討 岩見重太郎武勇傳 軍事大活劇 兩中尉 三卷

有樂館 新築落成 本町一丁目 電話二六六 十一月八日より優秀なる新寫眞提供 [illegible] ◎女俠客血櫻お駒 全五十場 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 甲齋虎丸演題替り 美術の譽名作左小刀 雨夜の鐘四ッ谷怪談 江戸の俠骨加賀鳶 右長講三席 [illegible] 毎夜午後六時より開演仕候

佐久良座 龍山 來る十一月一日初日開演 世界的大魔術 松旭齋天勝一行 『サラメ』大奇術 定めし大人氣ならん

龍光館 龍山停車場前 電話(龍山)四番 ▲十一月三十一日夜より秋期特別大興行 [illegible] 一品、奇想天外『〇十八號』 [illegible] 『舊劇鎗持勘助武勇傳』全五卷 [illegible] 六時三十分より開演致します [illegible]

消化と 仁丹 御大典の祝賀宴會の時 仁丹 御用意あれ

金言 德を行ふべき餘地は常に存す (セネカ)

旅館 月見館 東京市芝區愛宕町二丁目 茶代廢止 席料なし 閑靜 清潔 交通便利 電話芝一八六五番

ミツワ石鹼

凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹼たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。貴重なる皮膚毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

◎ミツワ石鹼は化學上の純石鹸たるのみならずなほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。
一、溫雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹼なり

擔任技師 藥學士 藤野太治郎 工學士 越智主一郎

▲賣捌＝全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店▼

本舖 ミツワ石鹼 ミツワ椿油 ミツワ家庭藥 肝油ドロップス 御園化粧品 發賣元 登錄商號 ◯ 丸見屋商店

東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

電信略號(〇ミヤ) 振替口座東京七一〇〇番 營業部電話 浪花 三〇八一番 四四四五〇九番

痳病梅毒

◎痳病療法に付て

▲醫術大家の進歩に供ひ痳疾治療法は洗滌注射法等種々立案ありと雖も勿論難治未だ完全なる結果を見ず今猶ほ學者研究中なり

然るに本舘發賣の治痳藥は昨年二月發賣以來今日迄數千の患者に付て實驗する所に百發百中の好成績を現はし且つ多數の醫師に於ても本劑を專用する者日に増加するに至れり本劑は效藥として名高き『ボロウエルサンタール油』(Oleum Santali)並に『テルチン』を配劑調製したる當舘秘傳の治痳藥なれば世に出でたる治痳藥の如きに非ざるも患者諸氏は斯る大なる山師的製品の廣告に迷はされ安價なる一或は痳病藥として醫藥に列なるも一日分四十錢乃至五十錢にも當る暴價を以て購はしむる高價藥は必ずしも購ふ可し(?) [illegible] 本舘の治痳藥は主藥公用し通り知名なれば素人は勿論醫師用として無比の治痳良劑たり

治痳藥 一週分カプセル五十個入 金一圓二十錢 二週分同百個入 金二圓二十錢

治痳球

◎梅毒秘密療法に付て

▲梅毒療法、種類を擧ぐれば (一)六〇六號注射療法 (二)水銀劑注射法 (三)塗擦療法 (四)吸煙療法 (五)浴療法 (六)藥(五)各種內服藥 以上六種であるが一得あれば一失あるもので六〇六號は效力あるも危險の如きを伴ひ [illegible]

一週分カプセル五十個入金六十錢 二週分同百個入金一圓十錢

[illegible] 本舘の驅梅藥は [illegible] 第一の本劑は梅毒患者血管中の梅毒を排出せしむ第二に本劑は血行を良くし … 第三は水銀劑又は鉛毒等の中毒を受けたる者に對し有力なる驅毒の [illegible] 以上三大特長あるものなれば [illegible] 六〇六號と雖も本劑を御試用あれ [illegible]

根治丸 一週分 金六十錢

擔任藥劑師 中島義次 助手藥劑師 渡邊力

救世藥館 京城南大門通四丁目 電話二九三番 振替口座二六八番

(治藥)製丸一製藥製造の依頼に應ず

第三版

京城日報

年中無休刊
（第二千九百三十六號）

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 樋口政太郎 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

大典前記

□聖上御座所

聖上陛下京都御駐輦中は常御殿を御座所とし、御學問所、小御所も御使用遊ばされ、侍從其他の人々は他の諸室を居間に充つると承る常御殿は檜皮葺入母屋作り、東西榮にして梁行十三間二尺桁行十間四尺東に面して前に翠潤天に連る林泉あり、仰げば大文字山を望み景勝眞に絶佳なり、小御所は紫宸殿の艮位にあり、東北榮にして東面し、屋根は入母屋作り、檜皮葺東に林泉樹石の觀あり、御學問所は南北榮にして東面林泉に望む、屋根は入母屋作り檜皮葺室内の調度は純日本式にして清韻あり、有名なる千鳥の棚あり、各殿とも御屋根の上に避雷針高く瑞雲に光る、御座所はすべて紫繝縁の幔幕を張り、御廊下には形付のリノリユムを敷き御疊の上には赤地に花の丸紋を置きたる白茶地に紋樣あるもの同じ白茶地に花美しき繍物を部屋に應じて敷きつめ、少御所には優雅なる菊を飾ると云ふ陛下には八、九兩日御休息あり、十日賢所大前に御報の儀終りて紫宸殿に於て即位式の盛儀を行せらるゝと承る

□皇祖の御靈代

賢所は一部の官人中にてケンショケンジョと言ひならはし居れるが、矢張カシコトコロと訓むが穩當なるべし、古き書物には畏所、尊所、賢所等異りたる文字を用ひたり、即ち八咫鏡を安置し奉り、所謂皇祖の御靈代を奉安する尊嚴なる聖殿なり、天照大神はこれを見る事我のごとくせよと仰せられて、天孫瓊々杵尊に賜はりしを崇神天皇は若し褻れて神威を冒瀆するあらば恐れ多しとて之を丹波笠縫邑に奉濟せしめ、別に模造せるを宮中に止め給ひしものにて、皇祖の御靈代とも申すべきものなり、御形は臣民の窺ひ知る處にあらざれど徑八寸ばかりにて裏面には三柱の神の御姿が鑄現はされあるやう承る

□復古せる春興殿

春興殿は即ち畏くも賢所を奉安する所にして建春門内（其昔こゝに内侍所あり）にあり、葉の温明殿（もとは武具を納められし所にして後神鏡を遷させ給へり）の地にして紫宸殿の東位十八間廊下を隔てゝこれに通ず十八間廊下は紫宸殿の北廂、露臺より端を發す、距離十八間にあらず、柱間十八間あるを以て此の稱あり、尊嚴なる御所外觀の代表とも見るべく、頗る長き廊下なり、古昔は白雲の靉靆くが如く蜿蜒として春興殿の御際迄達し居たるも安政御造營の際御調度總て御質素になされたる結果春興殿まで延びず御所の南に止めたるも今度今上陛下御即位に際し舊觀に復して春興殿まで延長せさせ給ふ御事となりたる次第なり

□春興殿御造營

京都御所の春興殿に奉安せる賢所は明治二年彌生三月都を東京に遷させ給ふとゝもに移御宮中御内庭の神殿に奉安し、二十二年皇居御造營と共に現今の賢所に遷座あらせられ、京都御所の賢所御殿は、皇祖の神廟たる大和橿原神宮に賜り其の社殿となさせ給ひ京都御所には賢所なかりき、然るに其後皇室典範にて御即位の大禮は京都御所に於て行はせ給ふ事に定められ、今回こゝに御盛儀を擧げさせ給ふことゝなり、從つて賢所を遠く東京宮城より京都御所に遷座し奉らざるべからざるに至り、大正二年の秋齋建設地に御造營工事を起されしも諒闇のため一時工事を中止し同四年五月より再び起工し九月末竣成せり、一時的の御建築物にあらずして永久的の建物なり

□崇嚴なる御構造

春興殿の御構造は東京宮城内賢所と御同樣なるも賢所より遙かに大にして總建坪五十八坪あり東西榮の神々しき白木造り、御屋根は檜皮葺の入母屋作りにして葺くに青銅を以てし内々陣、内陣、外陣の三部に區劃せらる、内陣は陛下御拜の御場所にして、内々陣は即ち賢所を奉安すべき神座なり、四方には欄を設け、花崗石を疊めるところ那智の石を敷き滿とせり、正面には七段の階段あり、外陣は桁行約八間半、梁六間半其の後方に繼ける内陣及び内々陣は桁行四間、梁間約三間、なるが周圍には廻り椽を廻らし、外陣の眞正面には高欄附きの木階段を設らへ、御屋根には銅板葺入母屋造りにて棟高く銅巻きの獅子口を備へ御木材はすべて素木造りの崇嚴なる御構造にて、隨所金具の燦爛と相映じて自ら森嚴の氣に充つ、聞く東京宮城の賢所の金具は紫銅色にして、京都に新築の賢所にも同じく紫銅を設計ありしに、工事中地中より、往古の金具にして金光尚燦乎たるもの數個出でたるより、古き例によりて金々具を用ひられしなりと、眞正面に二十四坪の神饌殿あり

天皇旗捧持の齋藤近衛騎兵曹長
鳳輦を迎ふる京都驛の奉迎門

帝政延期？

未だ支那全部は帝政に贊成せず 某將軍談

此頃は非常に忙しいんだ何しろお隣の支那が皇帝を置くか置かぬとか云ふ大問題なのだから駐支諸將軍から盛に暗號電報で報告が來る夫れを人が足りないものだから自分が手傳つては飜譯してゐるんだ何でも今度の日本の警告には支那も鳥渡參つた樣だ日本許りでなく露佛英三國も一緒だと云ふので英迎に出來ないんだ若しも袁氏が帝位に就くとすれば乾度革命黨なり宗社黨なりが蜂起するに違ひない兵馬の權が袁氏に握られてゐるからこそ表面上贊成はしても内心不滿の者がどれ程あるかわからない其廢運中が形勢に據つては何時向背を示すか知れない夫れに最近に至つて盛んに名物の流言蜚語が行はれ出してるヤレ日本や南洋其他に行つてゐた革命黨の連中が踵を躡いて歸國し出したとか廣東上將軍暗殺の陰謀があつてるとか萬一萬難を排して袁氏帝位に就くにしてよく右の擾亂を鎮撫し得るや否や昨今北京から盛んに各地に向つて軍隊を特派しつゝあるらしい之れ袁氏登極の際萬一の變あらば以て鎮撫せんが爲めである其特派兵が兵火を發せずしてよく萬一を鎮撫する事が出來れば此上もないが一度兵火を發せられんか災害居留外人の生命、財産に及ぶや必定である其時日本其他の列國から夫れ見ろ言はぬ事ぢやないのに無理をするからだと出られても返辭のしやうが無い況んや萬一自國兵のみを以て擾亂の鎮撫が出來ないなどと云ふ事にでもなれば泣面に蜂だ居留民保護の爲めに列國が出兵しても文句が言へない夫れに袁氏自身から言へば今現に中華民國大總統として兵馬の權と中樞に集められた政權とを握つてゐるのだから今が今萬難を排して迄も敢て帝位に陞らねばならぬと云ふ切望もなからう一體が今度の帝政問題は袁氏自身の考と云ふよりも袁氏に媚びる周圍のワイ〳〵連の仕事だと見てる處が袁氏は列國の勸告や内國の不安の爲めに何なら帝政は延期してもいゝ位に思ひ出してる而し既に茲迄進んで來てるのを今更列國の警告が恐ろしいからと云つて只其れ丈けの理由で延す事も出來ない各省の代表が頻々として帝政贊成袁氏推戴を那決するのも先づ上に其意あつて下其の意を致す譯なのだ要するに支那人の大多數はどうだつていゝんだ國體が共和だらうが立憲だらうが袁氏が大總統だらうが皇帝だらうが總て不關焉なのだ只負擔が輕くて平和でさへあれば夫れでいゝんだ夫れがさうでないと愚圖つき出すんだ代表を選み帝政を議するにしてもお上の意が茲にありとすれば帝政宜しい袁氏登極宜しい袁氏登極で來るさうする事が自分自身の安固なのだお上で帝政にしようと思へば代表は總て贊成する處が茲に不贊成が出て來た是れは考へ物だ果して眞に帝政に反對な代表があつて其心を其儘に語つてゐるのだらうか乾度裏底に芝居が仕組まれてゐるに違ひない袁氏は之を以て全支那は未だ擧國して帝政に贊成してゐないとして帝政延期の理由としやしないか明日の事態より未だ知るべからず期待せらるゝ支那の帝政問題が如何に發展するか零時記して後報に俟つ事とする

慘苦の白耳義

京城白國總領事館寄

四、農民の慘苦（承前）

終りさ雖も獨兵の隨處に行へる蠻行の斷に徴する時は容易に之を推知するを得べし。ナミュールの如く居人口が稠密なる州に於てすら股無くして敵の毒手に斃るゝもの三千有之れ但全男子に限られたり。後際の假造あらゆる苦痛を與へ徐ろに死に至らしむるは擬れ老婦女老人にあらざれば小兒なり。アザエルボードに祖先の錦と稱へたる女あり。シャフエンに腹を裂かれたる少女あり。ホフスタードに樹枝にかけられたる婦あり。アルベール陛下侍從武官デルチツト將軍がホフスタードにて發見せる老女の屍體は銃劍の傷十個所を算へるに非ずや。又一女は愛兒と共に地上に刺し貫かれたるに非ずや。井ルナールにては獨兵は一婦人を其の十一人の愛兒と共に生きながら燒殺さんとせり。女は八兒と共に[illegible]るには非ずや。八月二十三日の夜、カンヌの[illegible]家の戸を叩く音喧し、主婦の起きて開くや[illegible]銃床一擊之を斃し次で同家に[illegible]したるランプ[illegible]の代議員が子供を抱いて顧はるゝを銃剣を以て之を刺せり、パチスこ於ては住居を焼くに當り一女子を幽閉せり。モランステード近傍にて九十八歳の老人が其の娘の[illegible]められんとするを保護したるに敵は彼を樹幹に縛し[illegible]脚に縄ひて生きながら燒き殺したるあり。へ[illegible]ンにては八十歳の老人を椅子に縛したる儘[illegible]を粉碎せるあるを知らずや。殘忍酷烈、[illegible]易ならずと雖も殘虐に呪はれたる全白耳民の慘[illegible]を知らんとせば又力めて之を鑑さざる可らず。今や小兒に課せられたる殘酷の跡を見ん（未完）

日報俳壇

雉子郎選

露

隣から子を借り來るや露の秋　青居
夜露避けし峰寺仰ぐ麓かな　容堂

絲瓜忌

流星や子規忌句に更けて　香雨女
移居馴れし糸瓜淋しき忌日哉　同
絲瓜忌や旅の夕陽の草の月　殖女

夜學

夜學子に交り悲しい痴呆の子　小澪
遲れじと竅灯に急ぐ夜學哉　同

砧

藥砧憤怒静めて敲くかな　容堂
旭の染めし雲湧く川や水砧　同
思ひ秘めて打疲れたる砧哉　香雨女
鳴く驢馬に砧聽く路を急ぎけり　百草
旅荷解きまどふや砧打出でぬ　未知男

新酒

新走り歸休の我子迎へけり　邱聲
土間に酌む罐新酒に酔ひ足りぬ　吐人
汝が秘す入營見たり今年酒　潮外星

濁酒

塵吹きて濁酒の盞を取に晃　義朗
醉醺醺や壁に這ひ居る油虫　同
どうやら醉ひ居る春待つ使命　橙黄子
灯去る爐邊のうまひや濁酒　碓川
雨寒く濡れし漁衣や濁り酒　山民
石垣の蜥蜴見て飲む濁酒哉　容堂

籾摺

裸火に籾摺る人の去來かな　菁村
納屋の灯や籾摺る人に蓄焼く　遜水

落し水

水落せば田に日蔭る山の色　橙黄子
水落すや雲輕々と眉の上　同
落し水に雨聲もすう絡師泊る　青扇

[illegible]買物[illegible]筋の所在賈家を加ふる一方前週來たるに買物[illegible]して相場[illegible]三節には逆に百圓臺に押上ぐるの勢ひなりしより實物市場の人氣又從つて沸番九百四十五圓、武州九百六十五圓の振合にて内外輸出商へ約五萬斤出來[illegible]市場益々賑ひたりは去て買得手を收めて[illegible]國筋に依りて右相場を作りたるものなるが又此米國筋の熱狂的活動の動[illegible]如何にや九月下旬以來能く買續けししさなす者少からざるが[illegible]待つ[illegible]せる[illegible]品を凌はるゝの愛ひありしためなるべし米國の絲况は大體に於[illegible]

●仁川先月中水揚

十月中仁川近海の漁況は漸次閑散の[illegible]るも唯[illegible]十月に比し[illegible]千五百圓を[illegible]加したり而して月末に至りて潮水の冷却に從ひ魚族は温潮の流域に移遊前月より減少したるは自然の結果也

＝日記界の覇王出づ＝

『我等は日本國民である』と云ふ自覺は我等が無二の光榮であり誇りでありますー此光榮と誇りとを毎日自覺して國民としての責任を果たさしめんが爲に『國民日記』と云ふものが出來ましたー『國民日記』の優美なる體裁は世界に卓越せる我日本の自然の如くー堅牢無比なる其製本は天下無敵の大和魂の如くー其充實せる内容が古今東西の智識を網羅して餘蘊なきは恰も日本の文明が世界のあらゆる文化の粹を拔きたるが如し『國民日記』は從來有り觸れた日記のやうなものではありませんー眞に國民の爲に作られた國民の日記であります

定價 金四十五錢　郵税 金八錢

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

京都御着輦(詳報)

萬歳旛金風に靡き市民二十萬肅として奉迎す

聖上陛下七日午後一時五十五分京都驛御著輦の御模様は不取敢前報せるが(夕刊所載)尚ほ其詳細を記し奉るに此の日朝來麗かに晴れ渡りて御苑の松籟は靜かに萬歳を奏でゝ東山三十六峯は翠を湛へて今日のよき日の御幸を壽き奉る

□奉迎の準備

之より先き京都市にては同驛前に壯麗なる半永久的の奉祝門を建設して電飾を施し四條大橋の東西兩詰にも同じく半永久的の奉祝門を建て鹵簿の御通路たる烏丸通は各電柱の腰部を黒褐にて巻き上部を緑色、下部を白色に塗替へ萬歳旛を金風に靡かせ更に人道と車道の間なる各電柱を通じて紅紫繚亂たる花環飾をなし御苑内は白川砂美しく撒布され堺町御門其の他各御門は一般庶民の通行を禁じ三百餘名の大原女里諸面白く木の葉を拾ひ集め奉迎の準備は滯りなく整ひたり

□拜觀者廿萬

斯くて當日となるや京都府警察部にては警官三千五百餘名を六個大隊に編成して警備の任に當らしめ御著輦約六時間前より沿道は特別通路以外の交通を遮斷し特別拜觀を許されたる各府縣學校代表者の大阪府六百餘名を始め滋賀、福井、奈良、兵庫、鳥取、岡山等約三千名御苑内の拜觀所に參列し建禮門前より高倉橋に至る西側には京都府下に於ける八十歳以上の高齢者並に京大三高、同志社大學等の職員生徒約二萬五千餘名整列し其の他赤十字社員、愛國婦人會員、帝國軍人後援會員、武德會員、帝國教育會、辯護士會、帝國農會、大日本水産會員等約五萬人其れ〳〵設けられたる區域に整列し驛前より皇宮に至る迄拜觀者約二十萬、立錐の餘地なく堵列し何れも襟を正し靜肅に御著輦を待ち奉れり

□定刻前

軈て定刻前に至れば御通路なる烏丸通の東側には第十六師團京都衛戍部隊の歩兵第三十八聯隊、野砲兵第二十二聯隊、工兵第十六大隊、輜重兵第十六大隊、西側には舞鶴鎭守府及び海兵團の將卒堵列し京都驛プラットホームには御先著、閑院宮同妃殿下、東伏見宮同妃兩殿下、東久邇宮殿下、伏見宮同妃兩殿下、北白川宮同妃兩殿下、朝香宮同妃殿下並に京都御在住の久邇宮多嘉王同妃兩殿下、賀陽宮太妃好子殿下、村雲尼公、伏見文秀女王の各皇族方には何れも馬車自動車にて成らせられ山縣元帥、松方侯、一木、尾崎、河野、石井の各大臣、松川第十六、仁田原第四兩師團長、大森京都府知事、在京都の各華族、大谷光演法主、大谷光明法主以下各宗管長、京都府市名譽職員の外各有資格者何れも襟を正して御著輦を待ち奉る

□御著輦

斯くて野砲兵第二十二聯隊の二個中隊は京都驛南方深草の野に砲列を敷き百一發の祝砲殷々として洛陽の天地に響き渡れると同時に御豫定の午後一時五十五分といふに玉車、賢所奉安車を併せ合計九輛より成れる宮廷列車は轔轢の音靜かに構内に停車するや斯くと見るや古川鐵道院副總裁恭々しく鳳車の御前近く參進し御紋章燦たる御扉を左右に開き參らすれば陛下には龍顔殊の外麗はしく諸員奉迎裡に御下車、畏くも擧手の禮を給ひつゝ玉歩緩かに御便殿に入御あらせられたり(七日午後二時特派員京都發電)

支那帝政問題

▲回答依例不得要領 形式は對內政策上政府の自由

五日小幡代理公使は陸總長を訪問し前日交附せる我が質問に對する回答を要求せるに總長は國民代表大會が帝政を可決するも猶ほ參政院に諮詢する等の手續を要するを以て結局之が實行は或る期間延期せらる可しとの趣旨の回答を爲せし由にて依然不得要領の如くなるも解釋によりては列強の勸告を承認するの意思を示せるものと見るを得べく小幡公使は此の旨直ちに政府に打電し來りしを以て石井外相は六日大隈首相を私邸に訪問し凝議する處あり又午後三時には陸支那公使本國政府の訓電を奉じて外相を訪問せるが其の內容は不明なるも陸總長の說明したると同一なるものゝ如く即ち支那政府は帝政實行を延期すべきも其の形式は對內政策上支那政府の自由に委せられたき旨を回答し來れるものの如し(東京特電)

▲飽迄民意に籍口す 首鼠兩端依例支那一流の辭令

北京陸外交總長は四日小幡代理公使との會見に於て支那政府は日本政府の勸告に從ひ最善の方法を講す可きも既に國內に帝政贊成に投票せる者十五省に及べるを以て政府は今更帝政運動を中止せしむる事は不可能なりと通告し且つ一般の形勢は曩の回答に於て說明を盡しあれば最早何等言ふ可き處なしされども今日の場合依然輿論を抑止するも帝政運動の依然繼續せらるゝを奈何せん されど帝政の實施に關しては適當の機會の來るまで延期せらる可しとの旨を附け加へたりと察せらる(東京特電)

▲北京の國民代表選擧 投票には各選擧人を記名しあり目を輝かす劍突鐵砲の巡警監視

六日順天府にて國民代表選擧ありたるが周圍は武裝の巡警に監視され代表たるべき人物は既に投票紙に記入されたれ之れを各選擧人に配布せるを見受けたり北京尙ほ斯の如し各地方の干涉押して知るべし七日代表の人名確定し八日は團體投票の筈なり(北京特電)

▲決死の士三千餘名 帝政延期に稍氣拔の感あり

七日朝上海より寄港の露國義勇艦ペンサ號にて長崎に著したる一支那亡命者の談によれば四國政府の警告は北京政府を震駭せしめたれば帝政を布く事は萬無かるべく我等は皇帝出現と共に事を擧げんとしたるを以て稍氣拔けしたる感あるも本部隊は黃興の米國より歸朝するを待たずして決行すべく今や上海には決死の士三千餘名を有すと(長崎特電)

▲革命黨の東京奪還計畫 東京の支那人獨逸の勝利を希望す

甘肅四川雲南地方を視察せし岡山縣人岡崎某は七日午前門司に歸著せるが其の談に依れば東京地方の佛國駐屯兵は六百餘に減ぜられ居れるより革命黨は印度兵を煽動し此の際東京を佛國より取り返さんとて擾騷するよりラオカオにありし佛兵は先月十日東京に引揚げたり之れがため雲南將軍は軍需課長を日本に派し兵器買入れ中の筈なり同地の支那人は獨逸の勝利を希望し居れり(門司特電)

●強盜の支那巡警

去月二十六日双山子に於いて二名の[illegible]

(三)大分縣大分郡植田村三百三十八番地後藤壽一(三十)とて兩名は本年二[illegible]頭に立ちて自分等は德惠縣の兵士にせる藥品を發見するや不屆者奴と[illegible]言んばかりに一名の巡警は六名の者[illegible]ち所に斬首の刑に處[illegible]るべき事は[illegible]浪せる元兵士岩貴喜なるものが仲裁[illegible]をなす如く裝ひて二十吊文宛を提供[illegible]相は詳細判明したるを以て岩井警部補一行は後藤を伴ひて同地を去る[illegible]るや否やは斷定し難きも或は新富堡駐在の分局の者なるやも圖られず何[illegible]なる交涉を開始さるべしと云へば劉[illegible]監官の[illegible]水泡に歸し[illegible]

歐洲大戰亂

▲キッチナー元帥出陣

倫敦公報に依ればキッチナー元帥は愈々東部戰場に向つて派遣せられたり(紐育電報)

▲獨軍擊退 屍體百餘を遺棄す

露國軍艦はシロクに於ける獨軍陣地を砲擊せりスウエンテン湖水の東方に於て獨軍はブラトノウ河を攻擊したれども悉く擊退せられ百餘の屍體を遺棄せり(露都電報)

▲塞都占領公報

伯林來電公報に依れば勃牙利軍は塞耳維の首府ニッシュを占領せり(紐育電報)

▲希內閣辭職

雅典來電に依れば希臘國王はザイミス內閣の辭職を聽許せり(紐育電報)

●巴爾幹諸邦の運命 孤城落日の塞耳維

白井陸軍少將談

伊太利の聯合軍加盟が大勢にさしたる影響を與へ得ぬ樣に現に期待せられつゝある希臘の向背も結局は大勢に影響はない唯注目せらるるのは塞耳維の明日である塞耳維の奮戰は白耳義の勇敢と對比して今次の戰亂中東西の白眉である併し乍ら塞耳維の力は果して何時迄續くかサロニカの聯合軍ヴアルナに上陸した

□露軍が何時になつたら塞耳維を救助

す事が出來るか是れが今巴爾幹の大問題である試に巴爾幹の現狀を見るにダニウブ河に沿うた塞耳維の舊都ベルグラードあたりは獨墺軍に侵入せられ更に獨墺軍はルーマニア、ブルガリア、塞耳維三國交叉の國境山地オルソヴアから侵入して南下し又ブルガリヤ軍は塞耳維の橫腹を西征一はピロットに他はウスカップに迫らうとして居る而して北東からの獨墺軍と南東からのブルガリア軍とは最近に於て聯絡したと云ふ情報があつてゐるから塞耳維の北方及び東方國境は正に敵の戰線で網を張られた譯である從つて塞耳維は帝都ニッシュを更に他に移すのやむなきに至つてゐる。一體塞耳維は東西が山脈地で國を境し中央にダニウヴ河の支流モラワ河北流して其流域こそ平地もあり聊か兵を用ふるに足るけれども山嶽地に至つては

□殆んど大兵を用ふる事は出來ない

然も今尙戰ひは山地で行はれてる譯である而して今日塞耳維の運命は唯單に南サロニカに上陸した聯合軍の來援救助を待つより外に策はないのである、然らば其聯合軍は如何にと見るにダーダネルスの鎗は依然として尙ほ未だ半月旗の守護の下にある二十萬の聯合軍がガリポリに向つてゐるけれど總て是れ或は加奈陀遠征軍、或はアルゼリア土民兵と云ふ樣に殖民地の傭兵のみである土耳古が國運を賭して戰つてるのに比すれば戰士の覺悟が違ふ況や天嶮に據り他の利を占たガリポリ半島の要塞には優にダーダネルスの前面設備に匹敵するに足りる丈けの背面防禦もしてあるのだから仲々に多島海と黒海とは手を握る事は出事兼ねる譯だ更に西方サロニカに上陸した聯合軍は如何と云ふに其總勢は種々の情報を綜合するに漸く二三萬に過ぎない其れが二手に分れて一は東デッブガッチから北して土耳古及びブルガリアに當らうとし他はサロニカから

□直路北上塞耳維救助の遠征に向ふ筈

なのだ其兵を強からめんが爲め英は十萬、佛は廿萬の兵をサロニカに送るべしとの事であるが果してよく送り得るや否や尙其輸送方法は奈何?思へば聯合軍に對しては極めて寒心に堪へざる次第である然も茲に尙一つ聯合軍側にとつての多少の期待は黑海を南下しブルガリアのヴアルナ港に上陸した露軍の今後の行動であるさり乍ら是れとても頗りに捗々しくないルーマニヤは露軍が兵を南ヴアルナ方面へ送る通路として自國領內を開放したとは言ふものゝ若し位置をかへて

□獨墺軍が其方面に優勢であつた

とせば獨墺軍にも國內通過を許すに違ひない丁度日露戰爭當時に於ける支那が日露兩交戰國の爲に滿洲を開放した樣にルーマニアは自國通過を同盟聯合兩軍に提供するかも知れない單に今日露に國內通過を許したからと云つて直に聯合軍側に加擔してゐるのだとは斷言し得られない今日ルーマニアが露に好意を表してゐるのは露領モルダヴィア、ベッサラヲの舊領を恢復したい野心がある位のものだ彼の巴爾幹戰爭の事を思つても戰はずして利を獲んとの考はルーマニアの下心なのだ其れを操縱する露の力は果してよく聯合軍の爲めに氣を吐く事が出來るかどうか――斯く見來れば巴爾幹の問題は一に塞耳維の運命に歸し塞耳維の明日は宛として孤城落日の姿である

◎綿花依然高値

歐洲戰亂勃發當時一般經濟界の恐慌に伴ひ紡績界も又操業短縮及び營業停止等に依つて綿花の需要殆んど停止したる爲め印度綿及び米綿は暴落し空前の安値を見るに至りしが其の後漸次平調に復し一般紡績業者も新たに紡績機を据え付け盛んに金巾及び木綿物を製出するに至りしが昨今に至つて急に綿花の需要を喚起したると原産地の凶作に依り暴騰を見るに至れり

人事消息

▲島村抱月氏一行 同上巴城館へ
▲馬詰次男氏(東亞實販賣所長) 平壤へ出張中のところ七日歸京
▲松山忠二郎氏(東京朝日新聞記者) 七日夜入京朝鮮ホテルへ
▲バーアンス氏(米國商人) 同上
▲マイアー氏(米國商人) 同上

朝鮮彙報共進會記念號第二

朝鮮彙報共進會記念號第二 大正四年十一月一日(定價二十五錢 郵税二錢五厘)

●口繪 閑院宮殿下の共進會御成△噴水池を隔して鐵道館及第二號館を望む△美術館○審勢館(下南)△第一號館第一部鑛業△第二號館第九部交通△參考館織物、組編物及系△第二號館及參考館の外部(三色版)△此の外本文插繪十數箇を掲出す

●閑院宮殿下令旨
●寺內總督奉答文
●殖民政策の第一義 東京帝國大學教授 法學博士 山田三良
●製鐵事業に就て 製鐵所次長 工學博士 服部漸
●中央製鍊所と鑛業發達關係 農商務技師 細井岩彌
◎共進會記事概況
◎閑院宮殿下の御台臨
◎共進會開會式
◎褒賞授與式に於る審査長の申請辭
◎褒賞授與式に於ける寺內總督式辭
◎共進會閉會式
●出品物審查概評
●受賞者人名
●各種大會
◎第十三回日本全國料理業者大會◎朝鮮全道神職大會◎全國金物商聯合大會◎全國新聞記者大會◎內外鑛業家聯合懇話會◎赤十字社並愛國婦人會本部總會◎朝鮮鐵道一千哩記念祝賀式附朝鮮鐵道殉職者弔魂祭及勤續局員表彰式◎酒造業者及輸入酒商大會◎運輸業者大會◎平壤に於ける赤十字社、愛國婦人會平南支部總會◎水産大會◎醫學大會◎東洋協會通俗講演會◎藥學大會◎朝鮮金融業者大會◎朝鮮商業會議所聯合會◎朝鮮農會總會◎醫生大會

●投稿を歡迎す 原稿締切期限毎月十日
研究資料 官の調査と個人の研究とを問はず朝鮮研究に關する記事は努めて掲載す
地方通信 各地方の經濟事情、人情風俗、古蹟の紹介、其の他一般狀況の通信を掲載す
質疑應答 法令、經濟、統計等に關する質疑に應ず何人も本欄を利用し得べし
投稿は必ず記名とす但し希望に依り發表紙面を匿名となすことあるべし

●販賣店 東京神田巖松堂、朝鮮各地到る處の書店に販賣す

大正四年十一月八日(月曜日) 京城日報 (明治卅九年八月十日第三種郵便物認可) 第二千九百三十六號 (三)

…るが今回取調のため出張したる我警察官の歸來談に依れば被害者は熊本縣熊本市西子飼町十九番地平野重勝…るが平野は數日前より…病床に呻吟し居りし處へ同日午前十一時頃突然七名の巡警襲來し平野の…辯解せしも彼等は一歩も假借せず平野を寢具外に跳ね飛ばし寢具の下敷…足らで後膝を丸裸にし胴巻にありし官帖百吊文を取出すや彼等は俄然態…たるも兩名は餘りの…なれはとて彼れ此れ言葉を代し居る中附近に流…に彼等は其儘何れにか姿を晦ましたるが尚ほ其外百餘吊文及び露貨數留を竊取せられし事を發見し事實の眞をなしたるに既に此事件に就ては承知せるもの丶如く劉曰く目下部下は各方面に出動中にて果して我部下な…相當の損害をなすべければ公然…を見合されたしと低頭平心哀願せりと尚ほ此件に就ては支那官憲に嚴重…

…一等(二名)松山忠二郎、山本久顯 二等(十名)原五郎、[illegible]

◉紫宸殿入御

瑞雲三十六峰に罩めて 秋陽に閃く錦旗燦たり

七日午後一時五十五分京都驛御着輦 聖上陛下御降車あらせらるゝや添田鐵道院總裁恭々しく賢所奉安車の御前に近づき御扉を開き參らすれば中央に安置せられたる賢所は白衣白袴の白丁姿なる輿丁之れを奉昇して御羽車に移御し奉れば宮廷列車に御同乘の大禮使總裁伏見大將宮殿下並に扈從の大山内大臣、大隈首相、波多野宮相以下供奉員一同下車、此間 陛下には御便殿内の玉座に於て御出迎の各皇族方其他に拜謁を賜はりたるが長途の御旅行にも些の御疲勞の御様だになく伏見、閑院兩宮殿下を玉座近く召させられ種々御物語りあらせられしやに洩れ承る

□神々しき御羽車

軈て鹵簿の御用意全く整ひ鷹司侍從長より此の旨言上に及ぶや 陛下には最と御滿足の御模様にて古川副總裁の御先導を以て御車寄より御召馬車に召さる、此の時午後二時を過ぐること約三十分なり鹵簿の前驅は京都府警部二名、警視、警部二名、永田京都府警察部長、警部二名の順序にて何れも騎馬を進むるや第四師團の陸軍々樂隊は嚠喨として『君が代』を吹奏す續て新たに制定せられし燦爛たる制服美しき近衛騎兵、續て衣冠單に帶劍の掌典補二名、近衛將校、衣冠單に帶劍の掌典二名騎馬にて之れに從ふ次に賢所を奉安せる御羽車は輿丁の八瀨童子之れを捧持し足取り靜かに步を進む御屋根に蜀江の錦を張り菊花御紋章を鏤めたるは拜するだに神々しき限りなり

□天皇旗燦たり

續て吳床、雨皮、續て衣冠單帶劍の岩倉掌典長騎馬にて進めば近衛將校左右を警備し掌典、近衛將校に次ぎ式部官戶田式部長官、河村宮內次官、波多野宮內大臣は儀裝馬車にて之れに次ぎ、續て天皇旗燦として滿街の金風に飜るよと拜すれば栗色、鹿毛二色の駿馬六頭鐵蹄緩かに曳引し奉れる特別儀裝の鳳車は天蓋に金色燦爛たる大鳳の翼を延ばせ肅々として步を進めらる御馬車の後には近衛將校固く警護し奉り侍從武官、藤波主馬頭、松川十六師團長何れも騎馬にて扈從し大禮使總裁伏見大將宮殿下を始め奉り各皇族、各大臣等何れも儀裝馬車にて扈從中上げ御通路烏丸通より丸太町を經て堺町御門を進ませられ建禮門内を左折して第一朝集所に著御、御車寄にて御降車玉步徐かに清涼殿を通御紫宸殿に入御あらせられ給ひ賢所は建禮門内を左折して西門より春興殿に入御あらせられたり此日京都驛より堺町御門に至る御道筋には早朝より拜觀の老若男女堵の如く整列し其數幾萬なるを知らず京都全市民凡て御道筋に集まれるかと疑はしむ斯かる多數の拜觀者なるにも拘らず鹵簿通御の際は靜肅に鳴を靜め鳳輦の金光燦として輝くあたり其の神々しさによく仰ぎ見るもの無かりし(三日午後四時特派員京都發電)

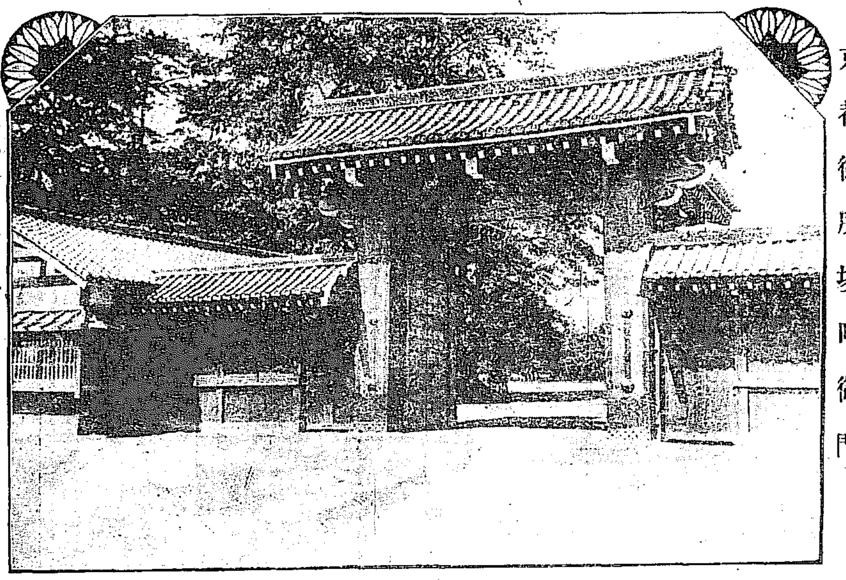
◉皇儲御西下

皇太子殿下には賢所大前之儀御拜禮並に紫宸殿之儀に御參列の爲め七日午前九時五十五分御出門入江侍從長御陪乘申し上げ東京驛に成せられ皇后陛下御使を始め岡陸相其他文武百官の奉送裡に御機嫌最と麗はしく同十時廿五分御發車遊ばされたり(東京特電)

◉行幸當日の八百八街

前夜に優る賑ひ

御發輦を送り奉れる六日夜の東京市中は各學校官衙の臨時休暇に依り前夜に優る雜沓を極め宮城前及び東京驛より日本橋京橋を中心として帝都の八百八街は宛然光の海の如き美觀を呈し特に前夜拜觀を得ざりし多數の人々は宮城前に集り來り前夜に增さる盛況を呈せり又日本橋より京橋銀座方面の大通りには各店競ふて凝せし店頭裝飾は目も眩まん許り花電車見物の群衆肩摩接踵し警官の制止も聞かばこそ電車の運轉も自由ならざる有様なりき(東京特電)



京都御所堺町御門

◉御大禮寫眞繪葉書

豫約募集の上發行

這回御大禮の御實況を諸方面から謹寫し奉るを得は全國新聞社によつて成立せる御大禮新聞團中の謹寫團が特に御大禮使より認可を受けました、此の寫眞は謹寫團の嚴重な監督の下に製造致しますので同一物はおろか類似物さへも絶對に他にはございません、斯かる珍重な御寫眞でございますから其の鮮明なことは申す迄もなく如何に山間僻地の方にても居ながらにして御大典の實況を拜する事が能きます、又此の寫眞繪葉書は豫約募集の上發行いたしますので御希望の方は京城日報社代理部まで御申込み下さい、種類は甲乙丙の三種あつて各種共六枚袋入となり一組十錢三組三十錢でございます、完成期日は甲種十一月十日、乙種十五日、丙種二十日

◉人の波光の海

空前の賑ひ

七日鳳輦著御あらせられたる京都市中は全市たゞ人波の漂ふ許りの賑ひにて夜に入りては猶は一層の賑ひにて彼處此處なる電飾を始め無數の電燈華の如く全市眼も眩惑せん許りなる一大不夜城の壯觀を呈し又燦んなる提灯行列ありて全市唯湧き返らん許りなる賑ひなり(京都特電)

◉盛なる藝術座一行の乘込

△新らしい脚本 △今夜は講演會

曩に早稻田大學教授の職を辭して專心新劇團の大成に努力しつゝある島村抱月氏の率ゆる藝術座の一行松井須磨子等二十二名は臺灣巡業の歸途神戸へ直行する筈のところ門司に出迎たる京城龍山佐久良座々主に擁せられ約廿日間滿鮮巡業のことゝなり七日朝釜山著同夜入京せるが驛には關係者多數樂隊を先頭に

▲賑々しく出迎へ 一行俥を連ねて市中を一覽の上抱月氏及び一部の人々は巴城館に其他は龍山に分宿したるが八日は靜養の上九日夜より佐久良座にて開演す可く今回上場する脚本は『復活』『サロメ』『故郷』『嘲笑』『剃刀』『飯』『熊』其他にして此の中『復活』の如きは例のカチユーシヤの唄によりて普く人の知るところにして京城にても先年近代劇協會が演じたることあり尚『サロメ』の如きは最近天勝が演じたるものなれども之れらは何れも藝術座の所演を模したるものにして加ふるに藝術座にては

▲これらの脚本は何れも 上場百餘回に及びたれば▲技益熟し光彩を 放つものある可く尚『嘲笑』『剃刀』等は題材を現代に採りたる深刻なる新社會劇にして頗る目新らしきものなりと因に島村抱月氏は開演に先ち今八日午後七時より佐久良座に於て所謂新劇に就て趣味多き講演をなす可く入場無料にして多數の來聽を希望すと

◉失火罪控訴

石川縣羽咋郡西海村當時元山本町三丁目醬油釀造業小川某(三)は失火罪に依り咸興地方法院元山支廳に於て罰金百圓の判決を受けたるを不當として京城覆審法院に控訴せるが事實は本年九月十九日正午より同四時迄の間に其所有に係る元山泉町三丁目三番地にある自家醬油釀造場内の煉瓦造りの竈に大豆を煮る爲め割木を使用して焚火をなしたる際其殘火の始末をなさず其儘に立去り之より發火して同夜午前一時頃傍の板塀に燃え移り遂に釀造場を燒盡し次いで附近なる柳田中村三宅柴田竹野藤野坂根栗田等の諸家に延燒して烏有に歸せしめ其他四軒を半燒するに至らしめたるものなりと

◉御大典奉祝國禱會

旭町三丁目日蓮宗護國寺に於ては十日御即位當日午前五時半より梵鐘を打ち鳴らして祝意を表し猶ほ午前十時より佛殿にて莊嚴なる御大典奉祝國禱會を勤修すべく猶ほ當日一般の參詣者には『御大典奉祝に就て』と題する小冊子を頒布し御大禮の要旨に就き說教ある筈

◉暴風警報(十一月七日午後六時五十分發)

▲警文 風强かるべし ▲低氣壓の位置 支那東北部 ▲同示度 七百五十八耗 ▲進行方向 東 ▲警戒區域 南部

「大禮奉祝」文藝募集

- 種目 漢詩、俳句、短歌
- 期日 八日
- 賞金 各種に付一等一圓、二等五十錢、三等三十錢
- 宛名 大禮奉祝文藝係として種目表記の事

◉今日此頃の質屋

三年前に比べて餘程減つた 人心が沈著になつた證據か

今年は昨年などに較べて時候遲れの故か割合に暖い庭のポプラの葉も黄色に薄枯れて落ちやけた山の土が夕陽に冷たく映ゆるやうになつた今日此頃中流以上の家庭では疾くに冬仕度の衣類も整つてゐるが中流以下の家では昨今冬著物を急いでゐる最中である試みに京城の質屋を覗いて見ると何と言つても昨今が書入時と見えて市内百軒近くの質屋が皆相當に忙しく來客を迎へてゐる多い家では大抵一日に三十件から四十件の受入少くとも十數件以上を取扱つてゐる尤も昨年は入質が大部分で夫れが而も夏物が多數を占めてゐる質屋の方では每年十月と十一月とが仕切時になり流物の倉拂ひをなし更に受入を初むる向が多い其れも家に依つて營業方針は異つてゐるが一口借りは十圓以下のものが多いといふ中以下の家庭として生活上質屋は最も便利な金融機關となつてゐる入質する方でも彼是と見合せて衣類の三四點も持つて行くと質屋では如才なく見計つて質札と共に現金を貸して呉れる規定の三箇月期限が過ぎても利息をさへ拂込むだら情實上二三箇月位は待つてやる家もある質屋の方でも現金の回收を歡迎する方で質物を流す方は喜ばぬといつて居る併し昨今は流物も拂底のやうで處分は譯なく片附く市内で拂ける外に平壤釜山仁川元山等の如き地方の都會から古物商が集つて來て持つて行くのもある一日に貸出す金額は多い家では一千圓以上もある今頃入質したものは大抵來年の四月迄には不用の品が多いから中には最初から流す覺悟で入質する者も尠くないといふ其手加減は質屋の方でも大抵鑑別がつき流れる物が大約何程出來るといふことは豫想が出來る相である總じて每年入質者の數と質物が減少する傾向があり今より三年前から見ると質屋の數も三十軒許り減つた是等の現象から見ると世間一般餘程質生活なるものが引縮つて來たことゝ內地と同樣に人心が沈著となり旅の空といふやうな輕擧な調子が減却されて來たことが證明されるとさる質屋は語つてゐた

障子の張り方

昨日の障子張りはお正月の張り換へに間近いとで御坐いますからほんの間に合せに一間だけ叮嚀に切り拔いて切り張りをするもよし穴の少いのは花形さか曆のかたちとかに紙を切つて手際よく張りおくのも宜しう御坐います併し茲にはその全體の張替を申し上げませう障子張りには先づいろいろな準備が要ります、先づ

▲糊の拵え方は ウドン粉でも宜しう御坐いますが、生麩に越したことはありませぬ、生麩でしたら水に溶いて火にかけ、ぷくぷく煮え立つやうになつたら箸で絶えず攪き廻さなければなりませぬ、さう致しませぬとすぐ鍋に焦げつくものであります、糊に固まりましたらそれを濾しにかけて濾し、重箱のやうなものが大皿に入れて水を加へそれを適度にゆるめるのであります、ウドン粉の糊の拵え方も此の通りで少しも變りは御坐いません

▲第二刷毛であります が、これはいろいろ種類のありますもので、物によりましては價も上るものですし家庭用と致しましてはさまでに上物を求める必要もありませぬから有り觸れた安いもので十分であります

▲第三は障子紙 でありますが、これは座敷用の障子なれば改良美濃紙に限りますし、臺所や勝手口の出窓などは四の内を用ゐるが宜しいです、都會の地では障子紙は紙屋の方でちやんと繼いで賣つて居りますから誠に手數が省けますが、地方ではさうは行きませぬから紙を繼がなければなりませぬ、繼いである紙は一本で三尺の障子を四本張れるやうに拵えてあり、美濃紙西ノ内とも一帖四十八枚ですから、そのお積りで紙を求めなければなりませぬ。紙の繼ぎやうは成ろべく繼ぎ目を細く致しませぬと、張りあげてから見惡くなりますから特に注意を要します

▲第四は紙切の小刀 と定規でありますが、小刀は能く磨いで切れるやうにして置きませんと張りまする折に紙を引いて不手際になりたがるものです。剃刀の古いものか兩刃の庖丁などであれば至極結構です。それに臺所用の障子はよく鼠に喰はれるものでありますが、これを防ぐには布海苔を煮た汁を塗りますと決して鼠のつかぬものであります、仕度が整ひましたら今度は

▲障子の剝し方 でありますが、これは障子の骨のところに十分に水を付け、そして暫らく時間を置いて下の方からめくりますと面白いやうに剝れます。その時に一寸丸位の棒か竹をあてゝ卷きますと、紙が切れずに取れますから、それを乾かして叮嚀に延ばすと、いろいろの役に立つものであります、それを往々に障子を井戸端に持ち運んで、ざぶざぶ釣瓶で水をかけたり、更にひどいのになりますと池の中へ障子を浸す方などもありますが、これは障子を痛めるばかりでなく、廢物を利用することを忘れた致し方と思ひます

▲紙を剝す時に注意 しなければならぬのは、桟の埃を綺麗に掃除することです。これは張り上げてしまふてからは、塵拂をかけましてもなかなか取れぬものでありますから、張ります折に箒の先に濡雜巾をかけ、それで叮嚀に拭き取るのです。さうして紙を剝した障子の骨を乾かすために日光にあてゝも宜しう御坐います。今度はいよいよ

▲張り方にかゝる のでありますが、これは糊を十分刷毛に含ませて、障子の下の方から二段づゝ付けて張つて行くのであります。障子を下から張るわけは、雨が上から降るものでありますから、その繼ぎ目が上から重なる様にするためであります。二段が張り終つたら定木をあてゝ紙を切り、その上を手で輕く骨に押しつけるのであります

▲かうして張り上げ 障子は又たは吹かずにそのまゝにして置いても宜しう御坐います。玄人の經師屋には張り上げてから霧を吹く人と、張る前に障子紙に霧を吹く人さありますが、それもその人の好みでどちらが宜いといふ譯しもありませぬ

京日案內

◉普通 一行前金三十錢(無割引)

◉店員入用 齡十三より十八位迄希望者本人來談但市內に確實保證人要す 本町二丁目 △大正たび店 885

◉店員入用 身元確實の者至急入用希望者本人來談あれ ○龍山鐵道構內 すぎ屋本店 883

◉生徒募集 シンガーミシン刺繡並に裁縫短期教授 ○黃金町三丁目 △シンガーミシン裁縫院 843

▲乳母至急入用 京城旭町一丁目 小森材木店 864

◉貸家 日本建温突付三室至極閑靜 官吏向 管理者 蒸陽公園南裏 龍山印刷局先畑中 827

◉男女集金人並に外交員募集 月參拾圓を給す至急來談あれ 櫻井町二ノ一九七 △京城雜誌講讀會 877

◉日鮮人外務社員招聘 給料手當面談 希望者履歷書携帶至急來談但保證人を要す ○黃金町壹ノ六○西村 878

◉ほねつぎ うちみ、くじき治療 明治町(四ツ角か東へ上ふらんす教會前) 荒川仁壽堂 電話二五九五番 790

◉有給外務社員採用 希望者履歷書持參面談の上 京城本町四ノ一三二 逢萊生命保險相互會社京城支出張所 899

◉女中入口 官舍、商家、旅館 京城明治町 萬年社 電話一八四四 893

◉電話讓渡 料金全納三等の電話讓渡たし希望者至急來社を乞ふ (姓名在社) 894

◉名刺特約店募集 希望者至急申込但見本定價表の實費廿錢送付の事 京城明治町二電一二八九 瀨川名刺部 895

◉番外 一回前金六十錢(無割引)

○京城黃金町四丁目一〇番地 內科 產婦人科 外科 花柳病 上野醫院 電話二九三四番 881

◉募集 新聞配達人數名 但し市內に確實なる保證人を要す 至急來談あれ 希望者本人至急來談あれ ○明治町二丁目 町田新聞部 879

◉當店代替りの風評有之候へ共全く無根にて不相變從前通り親切丁寧に御取扱可申候(支那領事館筋) 明治町二丁目八 電話一〇九六番 ◯南質店 873

皮膚病 花柳病 專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二〇二番 802

恩給年金類立替 京城御成町 電話二七七番 山口屋 855

◉恩給 年金類立替 京城本町二丁目五十三番地 京城銀行横入 吉田屋 830

眞正平壤牛肉 特に軟かくして頗る美味 京城旭町二丁目日出ノ湯角 平壤 山田牛肉店出張所 電話二三四番 832

◉難症治療 內科 婦人科 京城南山町二丁目(喜久家の下) 電話壹式四番 一天堂醫院 840

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入 電話二二八三番 國江商會 859

◉恩給年金類立替 ◉營業擴張の爲め左記處へ移轉す 黃金町通櫻井町(入る西四ッ角) 長電話一三一二番 博多屋本店 856

印入タオル製造 進物用最適 一打五十錢乃至一圓廿錢 印揆様御好次第 電話一五九〇 南大門學校南側 ◯タオル製造所 791

自製自漫の東京やまさやたびは今回の共進會にて又々銅牌受領 眞價と證明に依り縮々御注文を乞ふ 明治町フランス敎會下通 やまさや 892

◉花柳病全治 詩合藥 りん病ばい毒にて御困りの方は一度御來店あれ 專門 京城黃金町三 藥房 ドラック支店 891

濁酒は㊂に限る 御小賣 大勉强 行商人多數募集す 龍山驛前 電話三〇三 丸三酒場 889

新龍山漢江通原病院向側 山野改メ 產婆 潔入ツマ 電話六一九番

◉樂器 オルガン バヨリン 琴 不用の御品は御持參あれ買取升 京城本町四 交番向小路 杉野樂器店 887

◉募集 年末用カレンダー 他に比類なし 新案實用向に出來品注文取り市內及び地方へ ○京城明治町一丁目 清寬 紙製品商 支店 896

古着古道具類 並 拂下品 右御一報次第確實に買受候 黃金町三丁目 電話二四三四 四宮商店 833

御大典奉祝用旗 代價五十錢 京城南大門通五丁目 御大典奉祝用旗 發賣元 890

○本月十四日午後二時千代本に於て兵庫縣人大會を催す各位多數出席を望む 會費貳圓五十錢 發起人總代 白井勝信 申込所 電一四二一 866

京城府告示第十七號
十一月十日御即位禮當日午後二時ヨリ舊慶福宮內勤政殿ニ於テ奉祝式擧行候條府民一般左記心得ノ上參列セラルヘシ
大正四年十一月七日 朝鮮總督府府尹 金谷充
記
一服裝ハ男子ハ制服(通常服)服制ナキモノハ『フロックコート』若ハ紋付羽織袴女子ハ白襟紋付トス但朝鮮人ハ朝鮮在來ノ禮裝ヲ以テ換用スルコトヲ得
一名刺ヲ係員ニ差出スコト

當協贊會殘務目下整理中不遠解散可致ニ付當會ニ對シ債權ヲ有セラルヽ方ハ本月十日迄ニ申出ラレタシ 始政五年紀念朝鮮物產共進會 京城協贊會

登錄商標 瓢水味淋 堺 [illegible]釀
專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

陰萎病並に神經衰弱に大効あり 滋腎春丸 三週間分金七十五錢 二週間分金壹圓 東京銀座 岸田吟香 電話新橋六一番 振替口座四七七番

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし 京城日報社 寫眞製版部

千生瓢 (35)

須藤南翠作　筒井年峰畫

密計(三)

柳ヶ瀬の本陣には、大篝火が熾んに焚かれて、陣屋には夕餉の粮食が配られた。先手の大將佐久間玄蕃允盛政が陣營には、鍋鳥賊を炙つて杯を擧げながら、忠左衞門を面前に居いて密々の會議を凝らして居る

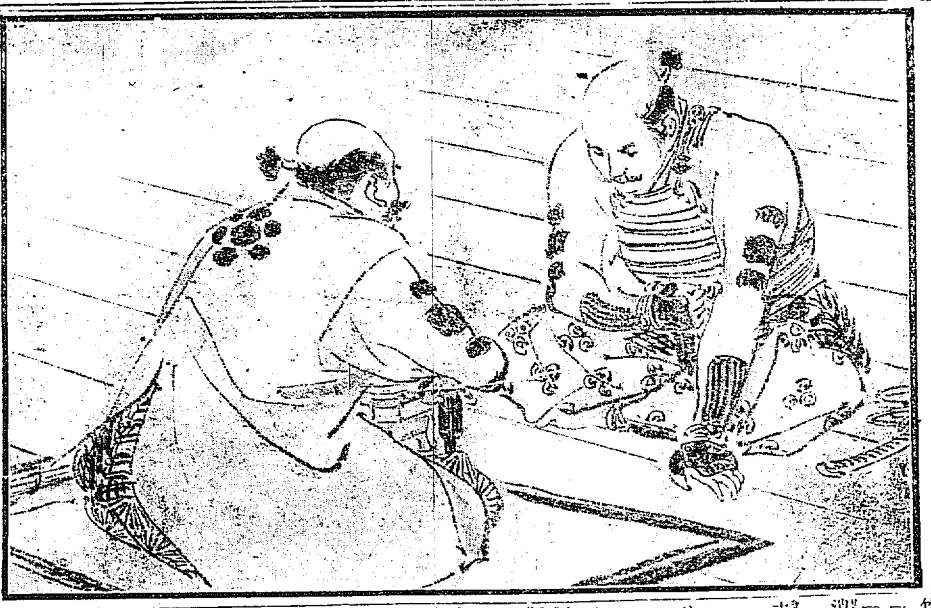
『殿、伊賀守殿御父子の御間睦しからず、殿も呉越におざりまいて、到頭筑前殿の軟かな手に、撫で込まれしなるまいてや』

盛政は感情が亢ぶつて、善を賞する事の強き代りに、惡を憎む一念は殆ど皮肉を分けて、骨に入らねば已まぬのであつた。

『其長濱は秀吉の本陣、こゝへお手入はなりませぬかな』

『兀目ぢや』

盛政は投げるやうに言つた。而て爛々と光る眼に、燈火をぢつと睨め



されたとは申せ、御家人は皆匠作樣重恩の者おざりまする。是等皆が皆まで、筑前殿新恩の祟つて、重恩の匠作樣に、弓彎かうとは存じられませぬぢや。殿、何と思召さるゝ』

忠左衞門ばかりさまに意中を披瀝した。盛政は杯を忠左衞門に與へて

『大鐘藤八、神谷越中、德永石見等は、疾く筑前奴に丸められて、伊賀を勸めて安土へ參向させたげぢや。是等の家老も元匠作が重恩の士、伊賀が後見として附け置いた者ぢやに主に反いて敵に仕ふる人面獸心、所詮武士の風上に置ける者共でないわ。其外の者共何うあらうか、多くは長濱在番と相見ゆるで何と詮やうもあ

てゐる。

『長濱までは叶はずとも、砦々を搜りまいたら、誰ぞ人員に加はつてゐようも知れ申さぬ。是等一つ御詮議はなされませぬかな』

忠左衞門は執念く固執して已まぬ。盛政は連りに大杯を傾げては、何か沈思して居たが、偶然思ひ浮べた事があつたか、膝を打と拆つて、

『忠左、近う進め、一大事の密談ぢや』

『ハッ』

杯盤を傍に押遣つて、忠左衞門は膝を前ませた。

『其方の心底は、玄蕃能く存じ居る。それ疑ふではないが、何事に依らず、今玄蕃が申さうずる事、違背なせぬとの誓詞聞から』

『御意擬つておざる。忠左性來の臆病者にて、一度も相應の働き致いた事とてもおざりませぬが、さて二心といふ者も、生憎持合せ居りませぬ。何處までも主は一人、命は一つと心得居ります。一人より持たぬ主の命とあらば、一つより持たぬ命を棄て、火の中にも入らう、水の底にも潜らうと存じまする。何事にても仰せ付けられへ、二言と申さず、相働むるでおざりませう』

忠左衞門は、手を擱げてはつしと我が胸を拆つた。

『其方左樣申さうとは玄蕃疾くより承知致いた。さて相談ぢやが、其方山路將監正國とは、同國同郷而も竹馬の友と聞き及ぶ。全く左樣か』

『仰せ、眞其の如くおざりまする』

『さらば、長濱表に在つても時々消息の便りはあらうな』

『さればおざりまする。伊賀殿御逝去、長濱全く敵地と相成つてよりは、一度も消息おざりませぬ』

斯くと聞くや、盛政は衝と膝を前めて、殆ど膝組となつた。

『將監が所存何と思やる？』

『逆心あるべき武士とは存じませぬ。去りながら、將監主つて孝心深き男、老母妻子を人質に捧られて、心ならずも引揚げ離たる折柄、伊賀殿與力の衆、一同に筑前殿隨身の姿となり、越前の通路梗塞り申して、今日まで過し居る事かと存せられまする』

『若し其方に於て、彼に面會の手蔓を求め、忍びやかに對面の致さうならば、彼の本心、今は筑前に傾いたか。但し匠作の舊恩を忘れずに罷在るかを、試し見る事の出來ようか。其返答が承りたい』

盛政は息を呑んで答へを待ち受ける。

新刊と批評（冊數著者名は編輯局宛御寄贈本のみ）

▲大日本國語辭典（文學博士上田萬年、高師教授松井簡治共著）苦心十五年の大著述として近來出版界を賑はしてゐる大辭典である。原稿稍んで二十餘丈全部脫稿して居るのであるが取敢ず今秋の大典を機として第一卷を發賣し以後一卷の印刷に一年を費し大正七年十月を以て全四冊を完結する規定である。特色は最も新しいといふこと最も大きくて最も精しいといふこと及び一々引例があつてそれが決して孫引でないといふ三點に要約し得られる。最も新しい點は是までの辭典の弊を追はず全く新規の方法で語彙を作つたことである。即ち從來の辭典は雅言集覽、俚言集覽といつた樣な德川時代の辭典を本にして語彙を作り其上に新しい言葉を足して行くといふ遣り方であつたのを今度は一々記紀萬葉以後和漢の群書雜誌の原本に當つて語を集め、悉くその語の用例となるべき文章を採錄して大きな國語索引を作り、之を土臺にして辭典を組立てたのである。即ちかうして集まつた日本古今の雅語俗語は六十萬に及んだが其中から更に二十二萬語を節つて其一々に出典的例を引用して語の活用を知らしめる工夫をした。其結果は從來の大辭典に比べて三倍乃至四倍五倍の內容を有する空前の大辭典となるに至つたのである。何よりも先づ各語について一々出典を確めたといふことは著者の主要な大努力であつたと共に其功空しからず、國民の眞に信賴すべき活辭典を得たことは深く感謝すべきであると思ふ。この辭典の內容が如何に豐富であるかの一例を擧ぐれば『かぜ』の條に普通の辭典は只數行の說明を加へた丈であるが『大日本國語辭典』は『かぜ』の說明に一寸した實例四十ほどを擧げて其爲に二百行以上を費して居る。以て從來の國語辭典との差違を知るべきである。なほ本書の解釋は概して平明穩健小學卒業程度のものにもその意味を解し得るやうに心を用ひてあるのは國民的の大辭典と稱するに反かぬと思ふ（全四卷總數五千頁四六倍版背革製第一卷既成特價金五圓、東京冨山房、金港堂協同出版）

●生糸奔騰す ▲十二月九百四十五圓

沈默して動かざりし米國筋も亦出動して活躍したるため益々氣配を昇め騰し兩者相互に相手方の腹を搜ぐるに專らにして自から値を切出

▲米筋出動の動機 斯くの如く暫米兩筋並んで活動せる機果して那邊に存するや賣人は一米國筋の前週來沈默して動かざりしは專ら氣勢の轉換を待ち相場の低落して好況なるを以て買先きの好望以て疑ひなく絹米相場の暴騰相並げ

時期なりしも去月の豐漁餘波を受け割合氣候の溫順に伴ひ鯛の漁獲は比するを以て漁船も又之れに伴ひ漸次南鮮漁場に移除するも

◎移轉謹告
今般南大門外金物商村上支店の老舖並に商品を讓受け移轉營業仕候
十一月一日
金物商　京城蓬萊町一丁目　白神洋行京城支店　電話二五一七番

消化と毒けし　仁丹
御大典の祝賀に人込に　仁丹　是非必要
金言　忠臣は國ある事を知りて家ある事を知らず（先哲）

內科 小兒科　入院隨意
京城明治町（元善隣學校跡）　中島醫院　院長 中島貞信　電話三七八番

酒精アルコール
猩々印特等品。壹等品貳種新荷著精々勉强可仕候
仁川宮町（振替口座京城六八番）　酒精直輸入一手發賣元　鬼頭兼次郎商店

イゲダ小兒病內科醫院　池田季雄
京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院一三三四番 自宅八八〇番）

小兒科專門 內科　若槻醫院
京城旭町三丁目（元十全病院跡）　電話二四六二番　ドクトル メヂチーネ 若槻寬隆

▲無効返金百圓進呈▼
痳病　一週間分 特製參圓 普通武圓 送費十二錢
黴毒　一週間分 特製武圓 普通壹圓二十錢 送費十二錢
右新劑痳病藥は治痳劑として黴毒藥は驅黴內服藥として方今世界の醫學上藥學上第一有効と確認せられ東京、京都、九州帝國醫科大學病院等に於て卓絕せる効力有りと賞揚配劑せられつゝありて衛生試驗所が檢查封緘せる正確なる商貴藥を主藥として製劑しある事を保證す、這は素人騙しの出鱈目にあらずして斯界の學士、博士の前に斷言する處を憚らず何人にても分析の結果前述の證言に違ひあるを發見せらるゝときは分析料として金百圓を進呈す
●あらゆる治療法を講じて尙効無き患者諸君よ、兎に角最後の手段として一度當商會へ來れ論より證據 無効の藥價は返金す
●本劑は他店に無し直接申込あれ△詳細は本月三日朝刊を御覽被下度（照會は返信券添附の事）
りん病ばい毒專門藥房　大阪合資會社ドラッグ商會
○本舖　京城南大門外　ドラッグ商會滿鮮本部　電話長二五六七番 振替京城四六七番
●支店　黄金町。龍山漢江通。元山仲町。釜山南濱。

內科 小兒科　入院隨意
京城日出小學校前　多々見醫院　院主 醫學得業士 多々見五郎　電話九〇四番

リウマチス、神經痛と せんきに惱む人は
彼れ是れ迷ふと無く速く確効ある靈藥神仙湯を試よ
現に烈しき神經痛が僅の神仙湯で夢の如く治り又は頑る難治のリウマチスや、數年痼疾の疝氣で惱み方々が神仙湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスッカリ快癒し嬉さの餘り懇篤な書狀（現在保存す一般の閲覽に供す）を送らるゝ實例も尠からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく即刻試よ神仙湯は家傳の秘方藥なるも今や全國各藥店に有る
本劑は せんき リウマチス 神經痛 と 子宮 血の道 ヒステリ 慢性 胃腸病 に 効驗顯著なり
●こんな徵候 胸、頭、手、足、肩、腰、膝、睾丸等筋つり、しびれ又は、張痛、彼處此處と移動し何となく息苦しく胸つかへ腹張り差込み、溜飲、食進まず便秘又は下痢、寒氣、逆上、血の目、暈、耳鳴、頭痛、肩の凝り、肩重く、腰足冷へ、不眠、根氣薄らぎ、記憶悪しく氣鬱し、物事に感じ易く、手足の浮腫等
●リウマチス神經痛、疝氣及婦人病より起る諸患に惱む人は片時も早く神仙湯を試みよ
價 一週間分壹圓二十錢 二週間分二圓五十錢 三週間分三圓六十錢 ●試用分十錢
本舖　名古屋市東區京町二丁目　荒川長太郎

タンセキ改良劑
本劑は最新高貴の鎭咳鎭痰の特効劑を配伍せるを以て、如何に重き呼吸器病にても一週間程試よ！
タンを去りセキを鎭め胸苦しきを和らげ安眠の効を奏す
呼吸器散　呼吸器丸
かゝる人に偉効あり
●息苦しく胸痛む人、●咳出で眠られぬ人、●たんに血の交る人、●聲潤れ出でざる人、●のんど腫れ痛む人、●たんせき切れ離き人
價 十錢、二十錢、四十五錢
本舖 丹平商會藥房　發賣 東京 大阪　全國到る處に販賣す

宮內省御用達　最上醬油元祖　ヤマサ醬油
創業三百七十年　醸造元 濱口儀兵衞商店　千葉縣銚子港
到る處酒醬油店に有

販賣廣告
今回京城電氣會社產出瓦斯コークス販賣引受候に付ては質特に瓦斯製造所に於て吟味精練致す事と相成候へば御掛念なく多少に不係御用命の程伏て奉願上候
京城府長谷川町五十八番地　京城電氣株式會社產出瓦斯コークス一手取扱所　南豐商會　電話一九二六番
委託販賣店　京城府南大門通り一丁目　泉商會石炭部　電話三九〇番
委託販賣店　京城府龍山元町四丁目　清水石炭店　電話五二八番

新刊書御案內

書名	著者	定價
鑛產工業分析法	船戶勝三	二五〇
實用數學	寶崎忠保	七五
漢和文海字典	水島慎次郎	一二〇
續和漢名詩鈔	結城蓄堂	一五〇
初等作詩法	森川竹磎	一〇〇
儀式書翰文範	大町桂月	一五〇
季寄新辭典	服部耕石	三五
立命安心逆順論	中野天心	九五
新愛國論	鈴木正吾	八五
若樂新賢の生活	池田藤外	六五
墮落の日迄	星野水三	六〇
ファウスト物語	新渡戶稻造	一〇〇
新南島大觀	南洋研究會	一〇〇
忠直卿	半井桃水	九五
東洋思潮講話	手塚榮川	一〇〇
藝術家と藝術運動	林田龜之輔	一二〇
古美術行脚	黑田鵬心	一〇〇
舊き明文より新らしき明文へ	中津臨川	八五
ゼエレン、キエルケゴオル	和辻哲郎	二五〇
改造の試み	田中王堂	一二〇
本然生活	加藤一夫	一〇〇
修養訓	大町桂月	一〇〇
青淵修養百話	澁澤榮一	三〇〇

大阪屋號書店　京城本町　電話一〇八六番　振替京城二五七二

M印　名聲大賞 牌受領　ゴマ印
大阪唐物町四丁目 阪田商店

日本郵船仁川出帆

十一月八日午前六時出帆
○大連太沽牛莊行 三河丸 十一月廿三日 正午出帆
○大連、太沽行 高砂丸 十一月三十日 正午出帆
相模丸
仁川海岸町一丁目 電話十二番 堀回漕部

朝鮮郵船

全羅丸 十一月廿四日 / 京畿丸 十一月十日 / 黃海丸 十一月十八日 / 咸鏡丸 十一月八日 （門司より釜山各港寄港鎭南浦間ごと） 釜山發
穩城丸 十一月九日 / 昌平丸 十一月十三日 / 鏡城丸 十一月十五日 （元山より各港經由雄基行） 元山發
能登丸 十一月十日 / 忠清丸 十一月十七日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
嘉島丸 十一月十三日 釜山發
江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山（浦項）發
三浦丸 十一月八日 釜山發
海州丸 統營丸 巨濟丸 慶寶丸 毎日 釜山發
興天丸 三日目毎 木浦發
恩興丸 十一月十五日 木浦發
公州丸 十一月十二日 木浦發
公州丸 十一月十日 木浦發
宗信丸 十一月十二日 仁川發
江原丸 十一月七日 仁川發
麗水丸 晉州丸 十一月十二日 仁川發
金州丸 咸陽丸 毎日午前 仁川發
平安丸 十一月十三日 若松發
本社 電話長一九五二番 京城南大門驛前 松原運送店

共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行 共同丸 十一月十一日 午前九時出帆
第一城津丸 十一月 日 後九時出港（元山出帆）
第三共同丸 十一月八日 出帆 西湖津沿岸各港を經て雄基行
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
秀吉丸 十一月八日後四時出帆
君が代丸 十一月十日後四時出帆
大有丸 十一月十八日後四時出帆
神代丸 十一月 日後四時出帆
第二太湖丸 十一月 日後五時出帆
○群山、大阪行 土海丸
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外國航路（濠洲航路を除く）と連絡の場合は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 漢城丸 十一月十一日 午後五時出帆；溫州丸；油頭丸
○木浦、釜山、長崎行 安東丸 十一月九日；天智丸 十一月十八日 午後二時出帆
鎭南浦、大連行 安東丸 天智丸 十一月十三日 午後二時出帆
○木浦、神戶、大阪行 薩摩丸 十一月 日 午後五時出帆
○群山、釜山、横濱行 千珠丸 十一月廿六日 午後四時出帆；チヨイサン丸 十一月十四日
○大連直行 千珠丸 十一月廿日 正午出帆；チヨイサン丸 十一月八日
○清津、浦潮行（元山出帆）
○地久丸 十一月九日、神宮丸 十一月十八日 午後三時出帆；城津丸
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 新高丸 十一月十六日 午前十時出帆；安平丸
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡 ○御乘船客は木船出帆約一時間前に御乘船 ○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
京城切符發賣所 仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番 二〇番 五五〇、內國通運會社支店 電話七八〇番

汽船釜山出帆廣告

○門司、大阪行 小倉丸 十一月十六日後五時出帆
○元山城津浦潮行 小倉丸 十二月二日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 立神丸 十一月九日後五時出帆
○元山、清津、浦潮行 立神丸 十一月十八日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十一月十二日後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 十一月廿三日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、勝本、博多行 天眞丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
釜山 大池回漕部